

# Web Fairy



# Paradise

第79号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第 68 回 WFP フェアリー作品展 (再掲)
- ・ Fairy of the Forest #42
- ・ 第 85 回 推理将棋出題
- ・ 第 86 回 推理将棋出題

結果発表

- ・ 2015 年年賀詰作品展
- ・ 第 84 回 推理将棋出題

読み物

- ・ WFP 作品展登場ルールのまとめ
- ・ 年賀詰紹介



2015 / 1

## はじめに



### 謹賀新年

あけましておめでとうございます。2015 年も WFP をよろしく願いいたします。本号が 79 号ですので来年には 100 号達成となりますね。そこに向けて頑張っていきたいと思っております。専業ではありませんのでなかなか内容の充実アップとはいかないのが申し訳ない所です。100 号では何か大きなイベントを開きたいと思っておりますので何か良い企画がありましたら教えてください。まだ先と思っていたらあっという間に来そうで準備は早めに・・・と思っています。

私事ですが、年が明けていろいろとございまして(ここではなんですのであとがきをご覧ください)なかなか大変な一年になるのではないかと思っております。

先月末に飛び込んできたビックニュースが黒田選手がカープに復帰！なんと 21 億を蹴って 4 億のカープに帰ってくるとは・・・カープファンにとっては涙涙の男気ではないか・・・昔の解図日記を読んでいた方はご存知かと思いますが、私の携帯の待ち受け画面は男黒田でした。(大リーグに挑戦してからは替えましたが)今年も前田投手も残り優勝の声も聞こえそうですので、待ち受け復活を考え中。Iphone ですのでやり方がよく分からないのですが・・・(おじさんですね)

とにもかくにも 2015 年がスタートしました。個人的には創作、解図とも昨年よりは頑張りたいと思っておりますが、それ以上に WFP でたくさんの方々に解答いただきたいと思っておりますので皆さんよろしく願いします。

## は

### 【募集】

#### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

#### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも 4 コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト 10、自己紹介、何でも OK です。

#### 感想

第 79 号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

#### 協力いただいている方々の HP アドレス

\*ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

67-8訂正再出題、  
第68回WFP作品展(再掲)及び  
第69回WFP作品展 担当：神無七郎

【問題】 2015を4つの平方数の和で表せ。ただし、そのうち2つは同一の平方数であること。

皆様あけましておめでとうございます。

今年も本作品展に素晴らしい作品が続々と登場し、解答者の皆さんも強靱且つ柔軟な頭脳でそれに応える——そんな充実した作品展になることを祈っています。私自身はとりあえず「締切厳守」と「誤出題の撲滅」を達成すべき目標とし、その上で少しでも質の高い解説ができればと思います。

さて、冒頭に掲げたのは今年の年号にちなんだ頭の体操です。そのままだと答えが多過ぎるので、少し条件を追加しています。平方数且つ立方数…という勘の良い人なら計算する前にその数が分かっけてしまいますね。

この問題は「すべての自然数は4個以下の平方数の和で表せる」という有名な定理（四平方数定理）が元ネタです。例えば7は「 $1^2+1^2+1^2+2^2$ 」で表せますし、8は「 $2^2+2^2$ 」で表せません。数が大きくなると平方数の分布はまばらになるのに、それでも4つの平方数だけで済んでしまうというのが、この定理の面白いところで、「天網恢恢疎にして漏らさず」という言葉を思い出しますね。

ところが、平方数が4個必要な数というのはそう多くありません。更にネタばらしをすると、「8で割ったとき7余る数と、それに好きなだけ4を掛けた数」以外は3個以下の平方数で足りるのです。「2015」は8で割ると7余るので、平方数が4つ必要な少数派に属します。筆者の神無一族内コードナンバーである「7」と同じ性質を持つのは何かの縁でしょうか？

ところでWFP74号で「一定距離に跳ぶリーパーは距離を勝手に決められない」という話をしたのをご記憶でしょうか？リーパーは飛ぶ距離が「2つの平方数の和」でないと自然な距

離の定義ができません。例えば8は2つの平方数の和で表せるので、 $\sqrt{8}$ リーパーは自然に定義できます。これは縦横2マス分跳ぶ「四方桂」となり、フェアリーチェスではこの駒をAlfilと呼びます（これは中国象棋の「象」に由来する駒ですが、合駒が可能という性質は取り払われています）。でも $\sqrt{7}$ リーパーはダメです。将棋盤は2次元なので、この駒は自然に定義できません。

では4次元の将棋盤ならどうでしょう？

4次元盤なら「四平方数定理」によって、どんな距離を跳ぶリーパーも定義可能です。例えば $\sqrt{7}$ リーパーであれば、3つの方向に1マス分、1つの方向に2マス分跳ぶ「六十四方桂」になります。何だか頭がクラクラしますね。筆者の脳にとっては4次元盤どころか3次元盤でも重荷なので、もし4次元盤で $\sqrt{2015}$ リーパーを使った詰将棋が出題されたとしたら、一目散に逃げだすしかなさそうです。

さて、今回は67-8の訂正再出題、第68回出題の再掲載、そして第69回の新規出題の三本立てです。出題者の顔ぶれがやや固定化しているのは気になるところですが、今月も手ごたえは充分。しっかり脳に汗をかいて、お屠蘇気分を完全に吹き飛ばしてください。実は第68回でも68-5に出題図の間違いがあったので、今回訂正をしています。作意に影響はないのですが、新年早々冷や汗をかきました。

【67-8再出題への補足説明】（再掲）

67-8はPWCと中立駒の組み合わせ。PWCは「駒取り」が「位置交換」に変更されるルールなので、中立駒が「現手番側の駒を取れない」という規則をPWCに適用すると「現手番の駒と位置の交換ができない」という規則へ再解釈されることとなります。ナイトライダーが使われていて厄介ですが、これ1枚だけでは詰められないことや、受方持駒制限により合駒がないことを考慮すれば、詰上り型も見えてくると思います。

【第68回作品展各題への補足説明】（再掲）

第68回の出題は全10題。解答募集期間が長いのでできるだけ多くの正解を狙ってください。

68-1と68-2は前回に続き、上谷直希氏の短編協力詰。フェアリーの原点に立ち返るような解答者に優しい作品です。「WFPは妙なルール

の作が多くて困る」という方も、この2題はぜひ解いてください。

**68-3** も上谷氏の作品ですが、こちらは「禁欲」と「打歩」の2つの条件が付き、ちょっと凝った手順が必要です。どうやったら、打歩詰を実現するための歩を手に入れられるか、作者の狙いを見抜いてください。

**68-4～68-9** は変寝夢氏による個性的なルールや駒を使った作品群。問題設定をただけで白旗を上げる前に、試しに解いてみてください。きっと難度は控え目だと思います。以下は個々の作品に関する補足です。

**68-4** は攻方の持駒にナイトライダー（夜）があります。この1枚以外は標準の駒数ですので、受方持駒は「残り全部」です。果たしてどの駒を入手するのでしょうか？ 「背面」ルールも付いているので忘れずに。

**68-5** は前回「受方持駒なし」となりましたが、これは担当の勘違いです。受方は標準の駒種・駒数で「残り全部」です。こちらには「背面」ルールは付いていませんが、**68-4** より紛れが多そうなので、順序を後ろにしています。

**68-6** は持駒にLion（鬣）がありますが、本作品展でもLionは何度か登場しているので、そろそろ慣れてきたのではないのでしょうか？ 本局でも受方持駒は「残り全部」ですので、合駒を読んでください。

**68-7** で登場するLeoは本作品展では初登場。Lionと紛らわしいですが、これは中国象棋のPao（包）の変種です。Paoが飛の動きを基本とするのに対し、Leoはクィーンの動きを基本にします。つまり、駒を取らないときはクィーンそのもの、駒を取るときはクィーンの方に1枚だけ駒を跳び越えてから取ります。駒の表記は迷いましたが、今回の出題ではPaoと同じ「包」を使っています。今後もPaoの変種が出た場合は、「包」やそれに似た字で、注釈を別途付けて何の駒か表したいと思います。本局は手数こそやや長めですが、受方持駒が「なし」なので、解図の方針は立てやすいと思います。

**68-8** と**68-9** は前回の作品展で登場したImitatorという特殊駒を使った作品です。**68-8** は受方持駒が「残り全部」、**68-9** は受方持駒が「なし」なので、手順の味わいはかなり異なります。言うまでもありませんが、**68-9** は「12金まで1手」ではありません。12金には75龍[I71]とする受けがあるのです。詳しくはWFP75号掲載のImitatorの紹介記事をお読みください。

**68-10** は前回に引き続いて一乗谷酔象氏による「威風堂々」シリーズの一作。今度は何でも「同飛」と取って駒を取り尽くすという条件設定です。ちなみに「同飛車大学」はもちろん某公共放送の某将棋番組で講師を務めている某棋士お得意のフレーズの一つ。せっかくですので、解図された方はぜひ駄洒落入りの短評をお願いします。

#### 〔第69回作品展各題への補足説明〕

第69回の出題は全9題（ツインを含むので実質10題）。**69-3** と**69-9** は特に難しいと思うので、腰を据えて取り組んでください。

**69-1** と**69-2** は前回に続き、上谷直希氏の短編協力詰。ただし、受方の手番から始める「受先形式」の協力詰です。受先形式は冒頭の1手を自由に指せるので、最初の1手をどう使うか注目です。

**69-3** も上谷直希氏の作品ですが、氏は第65回作品展でAndernachルールを使った素晴らしい作品を見せてくれています。盤面7枚の簡素な図から62手の長丁場という問題設定を見てもワクワクしますね。おそらく今回の作品展でも1、2を争う難問でしょう。

**69-4～69-8** は変寝夢氏が様々なルールの作品を見せてくれます。まず、**69-4** は「カメレオン駒」を使ったツイン。とは言っても、内容的にはa)が前座でb)が真打でしょうか。非標準駒数作品で飛が3枚に増量されているのも特徴です。カメレオン駒は第65回作品展で登場しているので、ルールで迷ったら第65回の出題稿や結果稿を参照することをお勧めします。

**69-5** は背面とフェアリー駒の組み合わせ。性能変化ルールを派手に動く駒に適用したらどうなるか注目してください。

**69-6** と**69-7** は中立駒の玉を詰める自玉詰。自玉がないのに自玉詰とはこれいかに、という感じですが、中立駒の玉は攻方の手番では自玉扱いなので、受方が指し終わって攻方の手番になったら詰んでいたという局面を作れば良いわけです。玉が中立駒という作品は、第60回作品展で登場しているので、「そもそも中立駒の玉に対する王手って何？」といった疑問についても、これを見れば分かると思います。

**69-8** も中立駒を使った作品。でも、今度は歩が中立駒になっている作品です。「打歩」の条件があるので、普通の歩か中立駒の歩を打って詰めねばならないのですが、今回の作品には普通

の歩はないので、中立駒の歩で詰めるしかありません。中立駒は詰めにくい駒なので、どうやって打歩詰の形を作るのでしょうか？ 実際に解いてその謎を解明してください。

**69-9** は一乗谷醉象氏の「威風堂々」シリーズ。エルガーの「威風堂々」のように、作者の代表的連作となるのでしょうか。先手が連続「同飛」を行った **68-10** と異なり、この作品は後手の飛車が 24 回連続で「同飛」を行うという条件が与えられています。56 手の長丁場ですが、題名も重要なヒントになっているので、こうした情報も活用して解図を行ってください。

**解答要項**

第 67-8 再出題締切：2015 年 2 月 15 日（日）

第 68 回分解答締切：2015 年 2 月 15 日（日）

第 69 回分解答締切：2015 年 3 月 15 日（日）

宛先：janacek789@ybb.ne.jp（メールの件名に「解答」の語句を入れてください。）

**作品投稿について**

作品投稿は随時受け付けます。（原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載します。）宛先は解答と同じ [janacek789@ybb.ne.jp](mailto:janacek789@ybb.ne.jp) へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

**ルール説明**

**【協力詰】**


先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

**【PWC】**

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。（駒位置の交換となる）

（補足）

- ・位置交換をすると「行き所のない駒」や「二歩」になる場合は普通に取られて相手の持駒になる

**【中立駒】**（「」あるいは「n 駒」）

どちらの手番でも動かせる駒。  
横向きの字か横に n を付加して表記。

（補足）

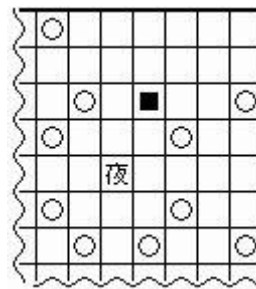
- 取り方や動かし方は以下の細則に従う
- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる（利きが非対称な駒の場合に要注意）
  - 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
  - 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることで

き、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。

- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 二歩禁が適用される。**手番を問わず**、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。  
→詳細は WFP61 号の「中立駒の紹介」の記事を参照してください。

**【ナイトライダー】**（夜）

フェアリーチェスのナイトライダー。  
ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



（○がナイトライダーの利き。■に駒があるとそこから先には利かない。）

**【禁欲】**

駒を取らない手を優先して着手を選ぶ。

**【打歩】**

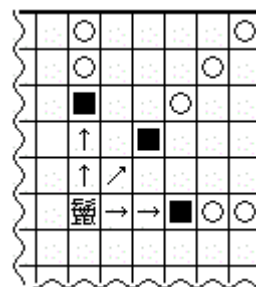
打歩詰以外の詰を禁じる。

**【背面】**

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入れ替わる。

**【Lion】**（鬣）

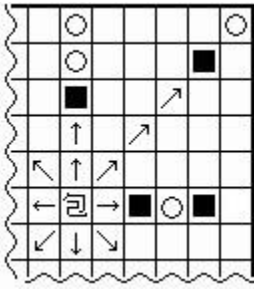
フェアリーチェスの Lion。  
クィーンの利きの方向にある駒を 1 つ跳び越えその先の任意のマスに着地する。着地点に敵駒があれば取れる。



（○が鬣の利き。■は敵または味方の駒。○の地点が埋まっていると、その先には跳べない。）

**【Leo】**（包）

フェアリーチェスの Leo。  
中国象棋の Pao の利きの方向をクィーンにしたもの。駒を取らずに動く時はクィーンと同じ。駒を取る時はクィーンの方向に 1 枚だけ駒を跳び越えて動く。



(矢印が Leo の動く方向。○は Leo が駒を取る時の利き。■は敵または味方の駒。駒を2枚跳び越すことはできない。)

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【Imitator】(■)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。

→詳細は WFP75 号の「Imitator の紹介」を参照してください。

【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

【受先】

受方から指し始める。

【Andernach】

駒取りを行った駒(玉を除く)は、その場で相手の駒となる。

(補足)

- 1) 取ると二歩になる場合、相手の駒にならない
- 2) 駒の向きの転換は成生の選択の後に行われ、成生の選択権は駒を取った側にある
- 3) 駒取りの場合に限り、8段目への桂の不成、9段目への桂香歩の不成が可能(二歩の例外を除く)

【カメレオン】(cX)

1手指すごとに駒の種類がサイクリックに入れ替わる。変化の順序は

Q(クイーン) → S(騎) → B(角) → R(飛) → Q → (以下繰り返し…)

(補足)

- ・取られたときはその状態で相手の持駒となりその状態で打つことができる。
- ・通常は駒種 QSBR の横に c を付記して表記する。今回の出題では図面作成の都合上、注釈で表記した。

【石】(●)

不透過・不可侵の領域を表す。飛び越すことは可能。

《67-8 訂正再出題》

解答締切：2015年2月15日(日)

■ 67-8 変寝夢氏作

a) PWC協力詰 15手

											一
											二
											三
											四
											五
											六
											七
											八
											九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

※夜：ナイトライダー、93香は中立駒

b) PWC協力詰 15手

											一
											二
											三
											四
											五
											六
											七
											八
											九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

※夜：ナイトライダー、93香は中立駒



《第 68 回 WFP 作品展》

解答締切：2015 年 2 月 15 日（日）

■ 68-1 上谷直希氏作

協力詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 桂2

■ 68-2 上谷直希氏作

協力詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 金桂香歩

■ 68-3 上谷直希氏作

禁欲打歩協力詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 金

■ 68-4 変寝夢氏作

背面協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 夜

※夜：ナイトライダー

■ 68-5 変寝夢氏作

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 夜

※夜：ナイトライダー

■ 68-6 変寝夢氏作

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 香鬣

※鬣：Lion

■ 68-7 変寝夢氏作

協力自玉詰 20手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
		馬						
			王					
								王

攻方持駒 包

受方持駒 なし

※包: Leo (Q利きの包)

■ 68-8 変寝夢氏作

協力自玉詰 4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
■					飛			
	馬							
王								王

持駒 なし

※■: Imitator

■ 68-9 変寝夢氏作

協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								王
		■						
					角			
		馬						

攻方持駒 金

受方持駒 なし

※■: Imitator

■ 68-10 一乗谷酔象氏作

推理将棋『威風堂々、同飛車大学』

「ご機嫌だね。またなんかいいことあった？」  
 「53手目に全駒で詰ませて勝っちゃった」  
 「ホント？ 相手はどんな手を指してきたの？」  
 「後手は、1筋から6筋まで順番に指す手も含めて10回連続で歩を突いてきた。それから、6種の駒を各々二連続ずつ続けて指してきたよ」  
 「なるほど。どんな手で応戦したんだい？」  
 「9手目以降は、相手が直前に着手した駒をひたすら堂々と取り続けたよ。それも飛車だけでね」  
 「相変わらず、強欲なやつだな。それから？」  
 「打った飛車は結局20回連続して動いたよ。この将棋、成る手は1回もなかったけど、金頭への着手があった。駒を打った場所は全部で5カ所だけだったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

条件

- 1) 53手目で詰んだ
- 2) 9手目以降、先手は「同飛」（相手が直前に着手した駒を飛で取る手）を連続して指し続けた
- 3) 先手は打った飛を20回連続して動かした
- 4) 後手は、1筋から6筋まで順番に指す手を含め10回連続して歩を突いた
- 5) 後手は、6種の駒を各々二連続ずつ続けて着手した
- 6) 金頭への着手があった
- 7) 駒打ちの場所は5カ所だけだった
- 8) 成る手はなかった





《第 69 回 WFP 作品展》

解答締切：2015 年 3 月 15 日（日）

■ 69-1 上谷直希氏作

協力詰 2手 ※受先

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
飛								王	八
								王	九

攻方持駒 なし  
受方持駒 香4

■ 69-2 上谷直希氏作

協力詰 6手 ※受先

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 香

■ 69-3 上谷直希氏作

Andernach協力自玉詰 62手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角 金2 銀

■ 69-4 変寝夢氏作

a) 協力自玉スタイルメイト 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 飛3  
受方持駒 角2金4銀4桂4香4歩18  
※34Qはカメレオン駒

b) 協力自玉スタイルメイト 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 飛3  
受方持駒 角2金4銀4桂4香4歩18  
※34騎はカメレオン駒

■ 69-5 変寝夢氏作

背面協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 角夜  
受方持駒 なし  
※夜：ナイトライダー

■ 69-6 変寝夢氏作

協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
							飛	二
								三
								四
							王	五
								六
								七
							金	八
								九

持駒 香2

※45玉は中立駒

■ 69-7 変寝夢氏作

協力自玉詰 8手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
							王	五
								六
								七
							角	八
								九

持駒 香2

※36玉は中立駒

■ 69-8 変寝夢氏作

打歩協力詰 17手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
王	皇							三
		角						四
王	皇	皇						五
		●						六
		●						七
								八
皇	香							九

攻方持駒 n歩2

受方持駒 なし

※85歩及び持駒の歩は中立駒

●は不透過、不可侵の領域

■ 69-9 一乗谷醉象氏作

推理将棋『同飛車大学9回生』

「さっきの将棋どうだった？」

僕が見たとき君の駒台は『飛角金銀桂香』が各1枚ずつと歩が沢山あって溢れそうだったけど」

「全駒で勝ったよ。」

56手目の5回目の王手で詰んじゃった」

「ホントかい？もう少し詳しく教えて」

「10手目以降、相手が直前に着手した駒をひたすら取り続けたただだよ。それも飛車だけでね」

「相変わらず強欲なやつだな。それだけかい？」

「あの将棋、4段目の着手は1回もなかったんだけど、成る手が1回だけあった。先手は1, 2, 3, 6, 8筋の順番に連続して歩を突いていたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

条件

- 1) 56手目に5回目の王手で詰んだ
- 2) 10手目以降、後手は「同飛」(相手が直前に着手した駒を飛で取る手)を連続して指し続けた
- 3) 先手は、1, 2, 3, 6, 8筋の順番に連続して歩を突いた
- 4) 途中局面での後手持駒は、飛角金銀桂香が各1枚ずつだった(歩の枚数は不問)
- 5) 4段目の着手はなかった
- 6) 成る手は1回だけだった



## 推理将棋第 85 回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第 85 回出題です。はじめての方は どの将棋だったの？ - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで 2015 年 1 月 20 日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの名前は「推理将棋第 85 回解答」をお願いします。解答者全員の中から抽選で 1 名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！ 1 題でも解けたらぜひご解答ください。

恒例の年越&年賀推理将棋を特集します。Pontamon さん、斧間徳子さん、DD++さん、はなさかしろうさん、渡辺秀行さん、諏訪冬葉さん、ミニベロさんの 7 名の方から投稿いただきました。多数のご投稿ありがとうございます。新年の干支（羊）と将棋を関連づけるのは難しいですが、幸い手順の重複もなく年号（15 と 27）や 1 月 1 日に絡めて多彩な問題が集まりました。

作品数が多いので次の通り変則出題といたします。

年末年始の本コーナー予定

第 85 回：12 月 24 日出題、1 月 20 日〆切り  
第 86 回：1 月 1 日出題、2 月 20 日〆切り  
第 87 回：2 月 24 日頃出題、3 月 20 日〆切り、以降平常の出題

### ■本出題

第 85 回は年賀推理将棋の定番となった 11 手詰を 4 問出題。お屠蘇気分で解いていただきたいのですが、難易度問わず募集したためか中級といえども骨のある問題もあります。

#### 85-1 中級 Pontamon さん作

年明けて… 11 手

干支にちなんだ「シープなり（4 一歩成）」

を可能にする手順を推理しよう。

#### 85-2 中級 ミニベロさん作

年越しパーティー 11 手

15 と 27 に打つ駒はどこで入手できるのか推理しよう。

#### 85-3 中級 渡辺秀行さん作

27 の駒 11 手

11 の手で詰む形を推理しよう。

#### 85-4 中級 はなさかしろう作

ひつじといえば 11 手

角が出没するのが 6 カ所でも 8 カ所でもない理由を推理しよう。

### ■締め切り前ヒント

85-1 中級：14 馬は先手ではなく後手の着手です。

85-2 中級：9 手目 15 に駒を打って 10 手目 27 に駒打ち。打つ駒はいずれも 2 筋で入手します。

85-3 中級：7 手目は 1 手待って後手にもう 1 手指してもらいたいところ。ここで 27 の歩を突き出します。

85-4 中級：角の居た場所は 22 と 88 のほか、先手が 3 カ所、後手が 2 カ所。後号角は 26 で取られます。

#### 85-1 中級 Pontamon さん作

年明けて… 11 手

「年明けて ウマ年おわり シープなり」

「何、それ？」

「友達から来た年賀状に書いてあったんだけど、どうやら、14 馬と 41 歩成の着手が

ある 11 手詰の推理将棋のことみたいなんだ」

「2014 年の 14 馬と 41 歩成が“シープなり”の 2015 年の年明けって訳ね」

「このヒントで解けるらしいんだ」

「推理将棋のことは知らないけど、その友達、俳句と駄洒落については才能なしだね」

「元旦早々『駒打ちは一度だよ』と電話して来たから、推理将棋も才能ないのかもね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 14馬と41歩成の着手があった
- ・ 駒打ちは1回だけ

---

**85-2 中級 ミニベロさん作**  
**年越しパーティー 11手**

将棋好きが数人で年越しパーティーをしているようです。

「みんなで2年越しの将棋を指そうよ」  
「いいね、じゃあ6手目は銀の手を指すよ」  
「あっ12時を過ぎた。2015年だ」  
「平成27年でもあるよ」  
「じゃあ9手目と10手目は15か27に着手してね」  
「どちらも駒を打つ手にするよ」  
「あらら、11手で詰んじやった。1月1日だから勝っても負けてもおめでとう」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 9手目と10手目は、15か27の地点への駒打ち
- ・ 6手目は銀

---

**85-3 中級 渡辺秀行さん作**  
**27の駒 11手**

「平成27年の指し初めは27の駒を動かす着手があったよ」  
「君にしては珍しく普通の将棋を指したのかな。それでどうなった？」  
「11手目11への着手で詰めて僕が勝ったのさ」  
「勝因は？」  
「5手目、1段目に駒を打ったのが良かったと思うよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 11手目11地点への着手で詰んだ
- ・ 27の駒を動かす着手あり
- ・ 5手目は1段目への駒打

---

**85-4 中級 はなさかしろうさん作**  
**ひつじといえば 11手**

「あけましておめでとう！ ちょうど指し初めしたところだよ。棋譜見る？」  
「謹賀新年！ 今年も気合十分だね・・・お、元日らしく、11手で詰みか」  
「もちろん。それから、初期位置の2カ所を含む盤上計7カ所に角を出没させてみたよ」  
「え？ 未だからツノって…こじつけ！？ 羊といえば、ウールだと思うけど」  
「ううむ。それなら、最終手が27の地点への着手ってことで、どうかな？」  
「ははあ。今年の指し初めはこの詰め上がりがめじろ押しかもね」

さて、どんな将棋だったのだろうか

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 角が盤上にいた地点は初期位置の2カ所を含めると計7カ所
- ・ 最終手は27地点への着手

## 推理将棋第86回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第86回出題です。はじめての方は どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2015年2月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第86回解答」でお願いします。解答者全員の中から抽選で1名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！ 1題でも解けたらぜひご解答ください。

あけましておめでとうございます。本年も推理将棋をよろしくお祈りいたします。

第86回は年賀推理将棋の後半4題を出題。担当から年始あいさつ1題と実力者からの3題を出題します。

手数順に並んでいます。86-3が初級問題で手数は長いですが実質6手です。

今回のメ切り 2月20日迄は推理期間がたっぷりとありますので解答をよろしく。

今後の本コーナー予定

第85回：12月24日出題済み、1月20日メ切り

第86回：1月1日出題（今回）、2月20日メ切り

第87回：2月24日頃出題、3月20日メ切り、以降平常の出題

### ■本出題

86-1 中級 NAO作  
15の勝負手 11手

初王手の前に1段目に成る形を推理しよう。

86-2 中級 斧間徳子さん作  
平成27年の指し初めの一局 13手

27地点まで後手玉が進む手順を推理しよう。

86-3 初級 諏訪冬葉さん作  
15と27 15手

9手目までは必然手。その後の6手で詰む基本形を推理しよう。

86-4 上級 DD++さん作

謎多き年賀メール 15手

ミステリ調の本格推理将棋登場。大駒が取られる同の手を推理しよう。

■締め切り前ヒント (2月13日頃コメント欄に掲載 NAO)

86-1 中級 NAO作  
15の勝負手 11手

「指し初めの一局はどうだった？4手目の44歩まで見ていたけど」

「一段目に駒を成った後、次の手で勝負手を放って一発で仕留めたよ」

「へえ、新年早々からめでたいね。勝負手ってどんな手なんだい？」

「11手目15の手が会心の一手。それが初王手で詰んだよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

そして2015年、貴方の勝負手は？

(条件)

- ・11手目15への着手が初王手で詰んだ
- ・4手目は44歩
- ・9手目は一段目に成る手

86-2 中級 斧間徳子さん作  
平成27年の指し初めの一局 13手

「昨日の指し初めの一局、わずか13手で27にいる相手玉を詰ませて勝ったよ。

平成27年の指し初めで27玉を詰めるなんて正月から縁起がいいや」

「そうだねえ。で、どんな将棋だったの」

「ええと、2筋の手が6回あったな。あと、飛車を引く手と不成の手もあったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・13手で27にいる後手玉が詰んだ。
- ・2筋の手が6回あった。

- ・飛車を引く手があった。
- ・不成の手があった。

---

### 86-3 初級 諏訪冬葉さん作 15と27

生徒「先生、新年用の問題作りました」  
先生「ほう、どんな問題だい？」  
生徒「15年にちなんで15手詰です。  
“1、5、9手目は27にある駒を動か  
しました”  
“4、8手目は15に駒を動かしました  
”」  
先生「(小考)・・・あとで職員室に来なさい」

さて、どんな将棋だったのだろうか？  
そして、先生が生徒に言った一言とはなんだろ  
うか？

(条件)

- ・15手で詰んだ
- ・1手目と5手目と9手目は27にある駒を動  
かした
- ・4手目と8手目は15に駒を動かした

---

### 86-4 上級 DD++さん作 謎多き年賀メール 15手

年が明けて数日が過ぎた頃、1通のメールが届  
いた。  
送信者は不明。  
本文は次のような3行のみであった。

15は27未  
15の玉あり、そして金あり  
どうして友に比較さる

今年の西暦と和暦と干支、15年のお年玉額を  
なぜか友人に比べられた話。  
いかにも年始らしい内容だがどうにも文章表現  
に違和感がある。  
何より、誰が何のためにこんな文章を送ってき  
たのかさっぱりわからなかった。

長考すること数時間。

ふとした記憶からこのメールの真意が少しずつ  
見えてきた。  
このメールはおそらく将棋のある対局の内容を  
示している。

「15は27未」  
この「未」は本当は「飛辻」すなわち十字に利  
く飛車のことだろう。  
15手目は27飛と着手したわけだ。

「15の玉あり、そして金あり」  
玉はお年玉ではなく玉将、15地点の玉将の手  
があったということのようだ。  
後半も同じようにお金ではなく金将の手があっ  
た意だろう。  
場所もタイミングもこれだけではわからないが。

「どうして友に比較さる」  
これは解説に時間を要したが、同時に送り主特  
定の大きな手がかりでもあった。  
裏の意味として漢字を変換し直すと「同四手共  
に飛角去る」。  
つまり同の手は4手とも飛か角が取られたとい  
うことだ。  
そんな将棋はそうそうあるものではない。

そう、これはお年玉を貰った額を自慢し合いつ  
つ友人と指した今年の指し初めだ。  
この27飛もずいぶん印象的な詰みだったから  
間違いない。  
このメールはその時に負けた友人が腹いせとし  
てイタズラしたということなのだろう。

しかし、返信しようとして指が止まった。  
正月気分であざけて指した将棋だったため、正  
確な手順をほとんど覚えていないのだ。  
これでは迂闊な返事を書けないではないか。

もしこの時の対局の全手順がわかる人がいたら、  
再現してもらえないだろうか？

(条件)

- ・15手目27飛で詰んだ
- ・15玉という手があった
- ・金の手があった
- ・同の手は4手とも飛か角が取られた

# Fairy of the Forest #42出題

- 2014年11月20日：課題発表：(協力詰)
- 角または銀が活躍する作品
- 2015年01月15日：投稿締切
- 2015年01月20日：出題
- 2015年02月15日：解答締切
- 2015年02月20日：結果発表

## ■ 出題

相変わらずラインナップは代わり映えしませんが、たくぼんさんの客寄せ作から七郎・看空さんの長編まで、楽しめる内容になりました。

1題でも解けた方は、ご解答をお送りいただければ幸いです。

(解答先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

## ■ 42-01 たくぼん 協力詰 7手


持駒 銀2

## ■ 42-02 たくぼん 協力詰 9手


持駒 なし

## ■ 42-03 小林看空 協力詰 27手


持駒 なし

## ■ 42-04 神無七郎 協力詰 61手


持駒 角

## ■ 42-05 小林看空 協力詰 115手


持駒 角

# 推理将棋第 8 4 回出題解説

担当：NAO

出題：平成 26 年 11 月 22 日  
 解答締切：平成 26 年 12 月 20 日

担当を始めてから気になっているのは解答者数。第 8 1 回以降の解答者数は 1 8 名、2 1 名、2 1 名、そして今回は 1 7 名とちょっと減りました。当面の目標は解答者 2 0 名を維持することですが、多少難しくても良問を出すか、平凡だが無難な短手数 of 易問を出すか、巧く難易度バランスを保ちながら解答者を増やしていくのが担当の悩みどころ、いや、腕の見せどころです。

## 8 4 - 1 初級 NAO 作 リッチな輝き 9 手

「さっきの将棋どうだった？銀の手の後に金の手を 2 回見たけどその後盤面がキンキラキンに輝いて眩しくてよく見えなかったよ」

「結局 9 手で詰んだ。君の見た金の手 2 回の後にも銀の手を 3 回も見たよ。駒がギンギラギンに輝いていたね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 9 手で詰んだ
- ・ 銀、金、金、銀、銀、銀の順番に金駒の着手があった

出題のことば (担当 NAO)

金駒以外の手は 3 手だけ。どの駒をどこで取ってどこに打つか推理しよう。

追加ヒント

先手は 5 手目に銀を取り 7 手目に銀打ち。後手は銀金金銀の順に着手。

推理将棋 8 4 - 1 解答

- ▲ 7 六歩 △ 3 二銀 ▲ 3 三角成 △ 4 二金
- ▲ 3 二馬 △ 3 三金 ▲ 3 一銀 △ 6 二銀
- ▲ 4 二銀成 まで 9 手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科		帝	王			科	皇	
二		進		爵		全	馬	馬		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

条件

- ・ 銀、金、金、銀、銀、銀の順番に金駒の着手 (…32 銀…42 金…33 金 31 銀 62 銀 42 銀成)

担当からの 9 手詰 1 条件の作品。見慣れない金銀着手の順序を指定する条件ですが、理詰めに解いてもよいし、試行錯誤しながらでも容易に解ける初級問題として思いの外、好評をいただきました。

9 手詰で金駒を 6 手指すとすると、金駒以外の手は 3 手だけ。先手は、指せる 5 手の内、銀を取るのに歩と角で 3 手要するので、残りの 2 手で銀を使うしかありません。また、後手は指せる 4 手の全てが金銀に限定されます。

「▲76 歩 △XX 銀 ▲33 角 △XX 金 ▲(銀を取る) △XX 金 ▲XX 銀打 △XX 銀 ▲XX 銀」

4 手目で王手を防ぎつつ、銀を取る 5 手目が王手にならないような手を選ぶとすると、2 手目 △32 銀から ▲33 角成 △42 金 ▲32 馬が確定します。42 金の守りは強力ですが、6 手目 △33 金と移動させて無力化すれば、残りは銀の手の 3 手詰。▲31 銀打 △62 銀 ▲42 銀成まで。

金銀着手 6 回で 9 手で詰む手順は全部で何通りあるのでしょうか？

実は 65 万通り以上ある 9 手詰全手順の中で、金銀 6 回着手はわずか 8 通りだけ。その内訳は金 2 回銀 4 回着手が本作とその手順前後で 4 通り、金 3 回銀 3 回着手が 4 通り。各手順は紹介しませんので興味のある方はご研究ください。



それではみなさんの短評をどうぞ。

斧間徳子「金取り～金打ちがないとなれば、邪魔な金は33にどいてもらうしかない」

■6手目33金が急所でした。

ミニベロ「9手中6手が金銀。あとの3手は先手が銀を取るのに必要。となると玉が動く暇がないので居玉が決定。以下は条件に沿って考え33金を発見する。なるほど、推理将棋はこうやって論理的に解くものなのか」

■本作はロジカルに解けます。

孔明「比較的自由に指せる3手を全て先手が金駒を取るのに使わないといけないので後手玉が動けず、途中42に合い駒をするんだとわかったら解けました」

■玉の手が指せないで、先手角で42の駒を取る手がないんですね。

小山邦明「金銀の動きは連続でなくて良いのですよね」

■はい。"連続で"と表記がありませんので。

Pontamon「金気だけで6手。後で使う銀を取らないといけないので角で42の銀を取ったら王手の応手が必要。あれっ？ってことで33角成に気付く」

■試行錯誤で手順を追っても、2～3回で解にたどり着けるはず。

DD++「暗算で解いていたら、33が空いているのに気付かず少し考えてしまいました。1条件なのに取り組みやすく、初級として素晴らしい問題」

■前担当のDD++さんに1分間考えさせることができれば成功です。

S.Kimura「取らせれば良い金を33に逃がしておくのが面白いですね」

■もう一方の金を動かすと玉の逃げ道が空いて

しまいます。

占魚亭「条件を勘違いしていたので苦戦。33金が盲点でした」

■形だけなら動かなくてもよい金を動かす不思議な展開でした。

飯山修「33角から侵入のパターンの9手はすぐ掘りつくされると思ったけど結構続くものですね」

■76歩～33角の手が入る9手詰手順は15万通り以上あるそうです。まだまだ掘っていきましょう。

波多野賢太郎「これは33金の一手が閃いてすんなり解けました。問題の会話がちょっと面白かったです」

■会話文がウケるとうれしい。

渡辺「5手目まではほぼ必然だが並べてみないと6手目が気付きにくい」

■ベテラン熟練者も盲点になりやすい33金でした。

加賀孝志「ヒントの出し方もアイデア」

■条件は骨格。ヒントは助け船。後手着手の銀金金銀はヒントで明示しなくとも導かれるはず。

はなさかしろう「豪華絢爛、銀金金銀銀銀。ちょっと手を出したくなる条件で、でもこれしかない手順。金は斜めに誘うべしで空成までと、意外にストイックなのでした」

■見た目豪華でも手順は渋め。

隅の老人B「6手目の33金が謎を解く鍵。解ければ「なあーんだ」、これが推理将棋ですね」

■密室、いや42に空室を作る鍵でした。

諏訪冬葉「玉を動かす暇がないので最初の5手はすぐ確定。33金が想定外の動きでした」

■ 5手目迄すらすら進み、6手目で考えてもらう狙い通り。

鈴木康夫 「銀は33から打つものとはばかり思ったので、7手目から少し苦勞しました。ライバルが登場したので久しぶりにプログラムにも解かせてみました。探索局面数 1021718899 所要時間 4022 秒」

■ こちらは、9手詰全手順リストからのテキスト検索。「銀、金、金、銀、銀、銀」のテキスト検索なら約5秒。金駒6回使用条件なら8通りの検索時間が約10秒でした。この手が使えるのは9手詰だけなので、計算機解答(検討)は大歓迎です。

たくぼん 「発想が面白いですね。難易度もちょうど良い1番でした」

■ 作者の立場で見ると難易度まったく不明でした。

正解：17名

飯山修さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん  
加賀孝志さん 孔明さん 小山邦明さん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん  
占魚亭さん たくぼんさん DD++さん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん  
Pontamonさん ミニベロさん 渡辺さん

### 84-2 中級 ミニベロさん作 条件の多い9手詰 9手

「新しい推理将棋作ったんだけど、見てくれない？」

「どれどれ、条件はどんなの？」

「5筋の手が4連続であって、4筋の手が連続であったの」

「なるほど、それだけね」

「いや、まだあるの。2筋の手があって、『左』の手もあったんだ」

「何それ？ 条件多すぎ！ よほどの大作なんだろうね」

「ところが9手詰作品なんだ」

「だめだめそんなの。誰も解いてくれないよ、

センスないね」

「そう言わないで、やってみてよ」

というわけで、解いてやってくださいな。

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・5筋の手が4連続であった
- ・4筋の手が連続であった
- ・2筋の手があった
- ・「左」の手があった

※連続とは、先手・後手の断りがない限り、全手順を通じてです。

出題のことば(担当 NAO)

詰みに必要な手だけでなく詰みに不要な手も見極めて詰形を推理しよう。

追加ヒント

とどめの一手は53銀打ち。7手詰の応用手順ですが、悩ましい条件は無駄手のため。

推理将棋84-2 解答

▲7六歩 △2四歩 ▲3三角不成 △4二銀  
▲同角不成 △5二玉 ▲5八金左 △5四歩  
▲5三銀 まで9手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	懸	垂		垂		科	皇	
二		遊			王	角		馬		
三	歩	歩	歩	歩	銀	歩			歩	
四					歩			歩		
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八					金			飛		
九	香	桂	銀		王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

条件

- ・5筋の手が4連続(6手目以降 52玉 58金左 54歩 53銀)
- ・4筋の手が連続(4手目以降 42銀 同角不成)

- ・2筋の手（2手目24歩）
- ・「左」の手（7手目58金左）

短手数の基本手順※に、先後1手ずつ詰みと関係ない手を加えたちょっと意地悪な作品。茫洋とした4条件で掴み所を誤ると思わぬ難問になります。

・条件を整理します。

1.5筋の手4連続。先後とも5筋を2回続けての着手。玉筋なので詰形を作る手順の候補を考えると後手番の2手は「△52玉～△51金左」「△52玉～△54歩」「△52玉+α」が有力。先手番では、9手目「▲53銀打」が有力。他に「▲53xx成」等。

2.4筋の手2連続。先後各1手ずつの着手。5筋を止めの手順に使うための駒入手が可能。「△42xx▲同角」が有力。

3.2筋の手。先手番で角活用を考えると(76歩34歩～)▲22角、(76歩～33角成)▲23馬等。単独手なら詰みとは無関係の▲26歩か△24歩。

4.「左」の手。5筋の手に含めるが、「52金左」または「51金左」が有力。

5.5筋の手4連続、4筋の手2連続、2筋の手。以上で合計7手になり、その他の筋は2手。うち1手は先手角を活用するため「76歩」が必須。5筋の手で詰むとすると想定される手順は「▲76歩、△X、▲Y、4筋2連続、5筋4連続」・9手詰ならここまで整理すると正解が見えてきそうなものですが、思わしい手順が浮かびません。たとえば「▲76歩 △xxxx ▲33角不成 △42銀 ▲同角不成 △52玉 ▲xxxx △51金左 ▲53銀」とすると7手目54銀打でよさそうですが、△51金左としたために41に逃げ道ができてしまうのです。また、「▲76歩 △34歩 ▲22角・・・」から始めると次の先手番で4筋に迫る思わしい手段がありません。

・迷路に入ったようですが、実は上記の条件整理で抜けがありました。「左」の手の候補手で、先手番の着手「58金左」です。そして先ほどの想定手順の後手番の左の手=8手目△51金左を、53に空間を空ける手=△54歩に変更すると、

「▲76歩 △xxxx ▲33角不成 △42銀 ▲同角不成 △52玉 ▲xxxx △54歩 ▲53銀」

この手順に"2手目に△24歩"、"7手目に▲58

金左"と詰みと全く関係ない2手を加えて、解にたどり着きます。すなわち、7手詰手順※に無駄手を2手加えた手順です。無駄手のために条件を増やしていること、各条件付けには誘い手が含まれていること、先後各々に無駄手があること等の理由で9手詰といえども解図には裏読みに近い推理力が必要でした。

※7手詰手順:▲76歩 △52玉 ▲33角不成 △42銀 ▲同角不成 △54歩 ▲53銀まで

それではみなさんの短評をどうぞ。

ミニベロ（作者） 「先手後手両方に詰と関係ない手があるので、待ち手とは違う言わば"迷彩条件"の実験作」

■簡素な条件で謎解きさせる従来の作風とは正反対の出題におやっと思われた方も多はず。

斧間徳子 「手がかりがなく解きにくい問題。7手詰に無駄手2手を加えた作品だが、作者が気にしているように9手詰にしては条件が多く、この作者にしては今一つの感がします」

■やはりミニベロさんは期待度が高い。シンプルな条件でちょっと考えさせるいつもの作風離れて、戸惑いました。

孔明 「2筋の手が▲2二角、左の手が▽5一金左を想定に入れていてなかなか解けません。しかも正解手順にたどり着いていたのに最終3手を▲5四銀～▲5三銀だと思い込んでいて泥沼でした」

■落とし穴の誘い手が二つもある意地悪な"迷彩"問題でした。

小山邦明 「"左の手"が先手の金でないと5筋の連続4手が難しかったのでそれをベースに他の手順を考えました」

■先手の58金左と決め打ちすれば早い。

Pontamon 「7手詰み手順にプラス2した着手の条件が、どちらもミスディレクションを誘う設定にやられました。見ていなかった出題ヒント(?)を見たら解けました。」

■解く前には出題のことばを見てくださいね。

DD++ 「いつものミニベロさんの作風とかなり違ったので手間取りました。2手目と7手目は確かに『sense=意義』がない。」

■今回の創作方法は新しい試みではありますが、熟練と言うよりは老獪といえるでしょう。

S.Kimura 「最後に,"右"の手ではダメな理由がようやく分かりました」

■担当の検討では、右の手でも同じでした。「5筋4連続+4筋2連続+2筋の手」の条件を満たす9手詰は全部で5通りしかなく、左の手なら58金左、右の手なら58金右に限定されるはずです。他に手段があれば教えてください。

占魚亭 「2筋の手を保留して考えると簡単ですね。」

■7手詰基本手順ベースなら簡単です。それに気がつくかどうか。

飯山修 「7手問題で53銀打は角の入り口が33、44、97の3種だが44と97は54歩の早突きが不可欠なので結局33に落ち着く」

■5筋の手はフィニッシュに残さないといけません。

波多野賢太郎 「大苦戦で、ヒントなしでは解けませんでした。無駄手が2手あるとは思わず、"左"の手が5一金左だと思いこんでしまいました。2筋は詰みに関係なさそうだと思い、2四歩は気がついたんですが…」

■ダブルの誘い手があり、両方の罫を見破らないと難問になります。

渡辺 「7手詰に2筋と左を足す。足した左を使って5筋を4連続にしているため、元の7手が気付きにくくなっている、という仕組み」

■無駄手の条件と基本の詰手順を組み合わせた高等テクニックでした。

加賀孝志 「金左はユーモア、鍵は24歩の時期

ですね」

■2筋の手は他の条件が決まってから最後に決めればよいのです。

はなさかしろう 「覚えやすいので風呂で布団で会議室で考えましたが大苦戦。△24歩はもしかやと思っていましたが、▲58金左が閃いた瞬間、やられた、と。条件が多いこと自体が罫なのですね」

■そのとおり、わざわざ無駄手のために条件を増やしているんです。

隅の老人B 「『指すのをパスしたい』、そんな場面が2度ありました、ですね」

■パスの代わりに、詰みと関係ない無駄手を指す。

諏訪冬葉 「条件が多くて手をつける気がしなかったのですが、ヒントをみて2連続4筋の手と4連続5筋の手が浮かんで解決しました」

■7手詰手順を隠す条件付け故、手順が浮かびにくかった。

鈴木康夫 「やはりプログラムで解かせました」

■解図時間はどれくらいでしょうか？

たくぼん 「無駄手がこんなに脚光を浴びる作品は初めて見た(笑)」

■いい意味でも悪い意味でも脚光を浴びました。

-----  
正解：17名

飯山修さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん  
加賀孝志さん 孔明さん 小山邦明さん 鈴木康夫さん  
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん  
たくぼんさん DD++さん 波多野賢太郎さん  
はなさかしろうさん Pontamonさん  
ミニベロさん 渡辺さん  
-----

84-3 上級 はなさかしろうさん作  
伏線とその回収 12手

「今遊びに来てた連中、文芸部だっけ？ 腕前はどうかだった？」

「どうだかなあ。先手なんていきなり1筋に指したと思ったら、次は68玉だぞ」

「そのあと結局、後手が最後に3手連続で1筋に指して、12手で詰んだよ」

「ふうん。全局通しで見ると、1, 8, 10, 12手目が1筋で、3手目が68玉というわけか」

「なるほど。伏線をはって、回収したってこと？ 棋譜を合作してたのかもね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・12手で詰んだ
- ・1, 8, 10, 12手目は1筋の手
- ・3手目は68玉

出題のことは(担当 NAO)

終盤の1筋着手につながる伏線手を推理しよう。

追加ヒント

中段玉を1筋の飛車打ちで仕留める手段は。

推理将棋 84-3 解答

- ▲1八飛 △3四歩 ▲6八玉 △4四角
- ▲5六歩 △3三桂 ▲5七玉 △1七角成
- ▲4六玉 △1八馬 ▲3六玉 △1六飛 まで12手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金	王	金	銀		香	
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	桂	歩	歩	
四							歩			
五										
六					歩		王		飛	
七	歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩		
八		角							金	
九	香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	

持駒なし

条件

- ・1, 8, 10, 12手目は1筋の手 (▲18飛 ~△17角成~△18馬~△16飛)
- ・3手目は68玉

前作83-3「夜の長い季節は端で」と同様、序盤と最後の端の手がテーマの作品です。初手の伏線を最後に回収するスケールの構想ですが、アクロバチックな詰上がりが想定しづらくかなりの難問でした。

3手目に6筋に移動した玉をどうやって1筋の手で詰ますことができるのか？謎を解いていきましょう。

・初手1筋：16歩、18香、18飛の3通り。19に空間を空けるには18香、28に空間を空けるか端で飛を取らせるなら18飛だが、どの手が有効か解らないのでとりあえず保留。

・8手目以降、後手が3連続で1筋の手を指して詰ます手順のため、後手の前半2, 4, 6手目に何が出来るか。当然、足の早い角を使うが、詰み道具に先手大駒を取る手を考えてみる。

まず、△34歩~△77角成~△88馬で角を奪う手段。角は取れても馬を使う余裕がなく、角1枚と1筋の手だけでは詰まない。

次に、△34歩~△44角からの1筋攻め。後手は1手余して8手目以降に17角成以下の1筋着手ができる。

初手▲18飛と1筋に飛を寄り、後手は△34歩~△44角~△xxxx~△17角成~△18馬と飛を取れば、12手目1筋に飛打が可能。18馬がいるので飛打は5段目か6段目に絞り込む。最終形には5段目か6段目の中段玉を推定。

・先手3手目68玉以降、玉が中段に進むには歩突きに1手と玉移動が2~3手必要。

最終5段玉なら56歩の後~57玉~46玉(66玉)~45玉(55, 65, 75玉)、66歩の後~67玉~56玉(76玉)~45玉(55, 65, 75, 85玉)、また、76歩もあるが後手角の利きがあれば7手目77玉と指せない。11手目45~85まで移動可能だが、△15飛打に対していずれの玉位置でも6段目に逃げる手があり詰む形がない。

最終6段玉なら56歩の後~57玉~46玉(~36玉)、66歩の後~67玉~56玉(~46玉)、または46歩の後~58玉~47玉~36玉。11手目36~56まで移動可能。6段玉への△16飛打に対しては歩突きの移動合が効きそう。ところが、後手の攻め駒は王手駒の16飛に加え、飛を取っ

た18馬がある。この18馬の利きがあるため36玉形だけは26歩を突けない。すなわち36玉～16飛打の詰形ができる。36玉が47に逃げられないよう歩突きは56歩に決定。

・以上の手順を整理します。

▲18飛 △34歩 ▲68玉 △44角 ▲56歩 △xxxx ▲57玉 △17角成 ▲46玉 △18馬 ▲36玉 △16飛迄。

未確定の6手目には、36玉の逃げ道25と45に効かせる△33桂がぴったり。36玉に合い効かずの16飛までが作意手順となる。

ここまで、多少の飛躍もあって作意までたどり着きましたが、他に手段はないのでしょうか。

・気になるのは端の角。14歩から13角の筋と先手角を奪って14角の筋。

13角の筋：先手「56歩～57玉～46玉」後手「44歩～54歩～14歩～13角」で詰み形に近づき、1筋以外に先後とも1手ずつ余るが46玉の退路36を埋める手段がなく詰まない。

14角の筋：先手「46歩～58玉～47玉～36玉」後手「34歩～77角成～88馬～14角」で後手があと1手44角成とすれば詰形だが、8手目以降1筋連続着手のため詰まない。

・5手目以降の先手着手は4回。単純に玉が1筋に近づくとどうか。

たとえば、初手18飛から、58玉→48玉→38玉→28玉と2段目を移動する手順。これは後手の8手目以降の1筋攻めと噛み合わない。最終12手目に1筋(17)に飛び込んでも先手の飛桂の利きがあり失敗。10手目以前に後手駒が1筋に飛び込むと今度は先手が28玉と近づけない。

・55角～28角の筋：▲18香 △34歩 ▲68玉 △55角 ▲36歩 △28角生 ▲58玉 △19飛 ▲48玉 △18飛成 ▲38玉 △19角成迄。

あるいは▲18香(18飛, 16歩) △34歩 ▲68玉 △55角 ▲36歩 △28角成 ▲58玉 △18馬 ▲48玉 △19馬 ▲38玉 △18飛迄。

いずれもほぼ詰形に近いが、推理将棋ルールでは28銀の無駄合が有効なため、12手では詰んでいない。

それではみなさんの短評をどうぞ。

はなさかしろう(作者)「裏側からのピンをテーマに最適位置を探していたらここになり、条件付けもこうなるところ。選択の余地がほとんどなく、不穏な気配を感じる手順です」

■作者は既視感があって先行作があることを気にされていましたが、その指摘はありませんでした。難問でありながら、簡素な伏線条件と想定しづらい最終形のバランスが素晴らしい作品といえるでしょう。

斧間徳子「洗練された条件と斬新な詰上りで、2か月連続のホームラン」

■端絡みの二題は、難しいだけでなく内容が素晴らしく完成度が高かった。

ミニベロ「難問である。まず3手しかない初手の意味が分からない。68玉は右へ行くフェイントであろうと思うが、詰形が見えない。やむを得ず『非限定順はすべて排除』の裏読みを使ってしまった。26の歩が突けないことに気がついたときは力が抜けました。序だけ指定すればあとはオートマチックとは、うまくできています」

■とっかかりと最終形が見えない難問。68玉は右に移動するであろうというヒントに。

孔明「▲3八玉型だと3九の銀の利きがあって詰まない…かといって銀を動かすと3九の地点が空いて詰まない…と無限ループに嵌ってしまいました。正解手順のように玉が上に行くと、6手目に▽1七角成としていたので、退路を封じる手段がないと思っていたのですがこの手は1筋の手なので8手目でも良く、6手目が自由に指せるとわかったのでようやく解けました」

■まず、38玉形は読まされる手順。

小山邦明「最後に先手が26歩とできない収束形はすばらしい」

■解けて、思わず膝を打つ手順と最終形。

Pontamon「歩の移動合いができるので駄目だと思って読みから外していた16の飛打ち。抜群の配置になっていたんですね。相性の悪い中段玉だったので時間が掛かりましたが、33桂に気付いてどうにか11月中に解けました」

■33桂で5段目をしっかり塞いでから1筋へ着手。

DD++ 「最終形がすごい。3手目 48 玉だったら 57 へ進む手が絶対に見えなかった自信があります。尤もそれだと余裕で余詰みますけど」

■慣れてくれば、3手目 68 玉が 57~46 の道筋を暗示することに気がつきますね。

S.Kimura 「中段玉で飛車で詰ますとは思いましたが、先手玉の位置が5段目ではなくて6段目であり、飛車を取るだけだと思った 18 馬が詰みに効いてくるとは思いもよりませんでした」

■侮れない敵陣の馬の威力。

占魚亭 「最初に解けたのはこの作品。34 歩が重要な一手だったとは」

■これが最初に解けるとは・・・凄い。

飯山修 「早い段階の玉の着手指定は上部脱出の通路非限定の解消ものが多いと思う」

■その裏読みは大正解。解答への近道でした。

波多野賢太郎 「この問題もヒントを見てようやく詰形を閃き、解くことができました。3手目限定以外、たったこれだけの条件で手順が決まるのがやっぱりすごいです。こういう問題が論理的に解けるように、また解説を読んで勉強したいと思います」

■論理的に解を導くには難しい問題故、解き方解説も難しい。

渡辺 「参りました。ヒントを見て詰位置がほぼ確定した後も一日以上考えました。一石三鳥の 18 馬。1.飛を取る 2.先手香の利きを防ぐ、3.先手 27 歩をピンする」

■飛取りだけでは済ませない強力な馬は、斬新で想定し難い詰め上がりを演出しました。

加賀孝志 「協力詰を見ていよう、意外な詰め上がり」

■王手義務のない協力詰を見ているのです。

隅の老人 B (無解) 「今年最後の問題が解けません、ヒントは中段玉で詰むとか、残念。苦し紛れの誤答を一つ。ふつうの将棋のルールなら、これも正解？」

18 飛、34 歩、68 玉、55 角、36 歩、28 角成、58 玉、18 馬、48 玉、19 馬、38 玉、18 飛打、迄 12 手」

■残念。推理将棋のルールでは 28 銀と応じて未だ詰んでません。

諏訪冬葉 「6 段目の玉に 16 飛は△○6 歩で簡単に逃れだと思っていたので補足コメントをみるまで全く読みませんでした」

■6 段玉への 16 飛打は、初めは捨ててかかる手順。

たくぼん 「最初は開き王手ばかり読んでました。27 地点を埋めるのに頭をひねっていたら 18 馬がありました。初手の意味が明確になりさすがの作品」

■初手の謎が最後に解るスケールの大きなミステリー作品でした。

-----  
正解：15名

飯山修さん S.Kimura さん 斧間徳子さん  
加賀孝志さん 孔明さん 小山邦明さん 諏訪冬葉さん  
占魚亭さん たくぼんさん DD++さん  
波多野賢太郎さん はなさかしろうさん  
Pontamon さん ミニベロさん 渡辺さん

-----  
総評

ミニベロ 「上級は久々に考えさせられた。私の解図力が落ちたのか。11手~13手あたりは、まだまだ怪作が潜んでいるようだ」

孔明 「初めてヒント前に全て解けました」

Pontamon 「1月に推理将棋に出会い、あっと

いう間に過ぎてしまった 2014 年。来年は完成率を上げるためにも解図ソフト作りに挑戦してみようかな。(投稿数の割りには余詰み作だらけなので) では、みなさん、良いお年を」

DD++ 「無駄手や迂回が隠しテーマでしょうか。条件の多寡は両極端ですが」

S.Kimura 「今回は幸いにしてヒントなしで解くことができました。年賀推理将棋特集もやさしめであることを祈ります。初夢が推理将棋でうなされることになりませんように・・・解答時では少し早いですが、良いお年をお迎えください」

波多野賢太郎 「今月もどうにか全部解答できて良かったです。今年も推理将棋の楽しさを知ることができました。ありがとうございました」

渡辺 「はなさかさんの問題は前回も今回もどちらも超難問でした」

はなさかしろう 「9手なのに見たことのない手順の問題が次々に出てきますね。攻め方5手で玉方に遊びが1～2手入るのなら多少は慣れてきたつもりでしたが、先手後手1手ずつとは！」

隅の老人B 「今年もいよいよ終わります。B爺さんの今年の推理将棋の正解率は？数えたわけではないけれど、6割くらいは解けたかな。さて、来年は如何なりますやら、来年も"宜しく"です」

たくぼん 「WFPの編集が遅れて今回は苦戦しました」

■年の瀬が迫ってきました。9月に担当交代しましたが、皆様のおかげでなんとか無事に年越しできそうです。来年も推理将棋を盛り上げていきましょう。では、よいお歳をお迎えください。

-----  
推理将棋第84回出題全解答者： 17名

飯山修さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん  
加賀孝志さん 孔明さん 小山邦明さん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん

占魚亭さん たくぼんさん DD++さん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん  
Pontamonさん ミニベロさん 渡辺さん



# ちょっと早い2015年年賀詰作品展解答

たくぼん

あけましておめでとうございます。今年の年賀詰作品展は楽しんで頂けたようで良かったです。解答者は5名。真Tさんは久しぶりの登場でした。

## 全題正解

橋本孝治、占魚亭、真T、一乗谷酔象

## 1題正解

変寝夢

## 第1番

神無太郎作 Isardam ばか詰 13手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						王			四
								王	五
									六
						香			七
									八
									九

持駒 桂

27桂 23桂 同王 25玉 17桂 33桂  
同王 14玉 26桂 22桂 同王 24玉  
16桂 まで 13手

## 詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							王		二
									三
							王		四
									五
							桂	桂	六
						香	桂	桂	七
									八
									九

持駒 なし

作者

初手 27 ということで。

- ★ 最近くるくるでも桂を使った楽しい作品を発表されている太郎さん。本作も持駒桂1枚からまさかの4桂詰と驚き満点の1作。白玉に利かして打つ桂を3枚取り、余詰を香1枚で抑えるとはびっくりですね。

橋本孝治

軽い趣向手順で空中四桂詰。桂の塊が羊の群れに見えます。太郎さんは、くるくる作品展に続き、桂が主役の作品で楽しませてくれますね。

占魚亭

H27年だから初手27着手で、2015年だから玉は15配置？手のリズムがいいですね。

- ★15は作者も読んでなかったかも

真T

四桂詰にびっくり。香1枚でまとめるのはさすがです。

変寝夢

年賀詰なので、よんけいづめですね

- ★頭悪いのか・・・意味は??

一乗谷酔象

玉の往復で桂が増殖。

## 第2番

たくぼん作 強欲協力詰 37手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							料		二
				歩	と	歩			三
					と				四
			銀	桂	入	香	香		五
					馬				六
				香	歩	歩			七
			王		馬	金			八
					王				九

持駒 なし

68馬 同玉 57馬 同玉 58歩 同全  
 48金 67玉 58金 同玉 67銀 47玉  
 56銀 同玉 55と 同玉 54と 同玉  
 53桂成 同玉 43香成 63玉 64歩 同桂  
 同銀 同玉 65歩 同玉 57桂 54玉  
 53と 同玉 45桂 42玉 33桂成 31玉  
 32圭 まで 37手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						王			一
						圭			二
									三
									四
						香			五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

★普通詰将棋に比べると煙らすのは簡単ではあるのですが、中央から展開するので収束が似たようなものになり易くそこが悩みの種です。

橋本孝治

期待通りの煙詰。27手目65歩の所ではは少し考えましたが、詰上りから逆算して解決。年賀詰でもちゃんと考え所があるのが、たくぼんさんらしい。

占魚亭

駒を綺麗に消してゆくのが気持ちよかったです。

真T

「たくぼんの解図日記」の年賀詰を解いていたので、収束が見えました。初形を見て、煙ったらいいなと思って解図。期待通り煙で楽しめました。

変寝夢

20手目まではスイスイでしたが……。5段目まで玉を戻すのと桂を打つなら4段目と早計してしまったのが敗因です。

一乗谷酔象

いつもながら細い攻めがよく繋がる手順に感心しました。64歩から平凡な精算が見えにくい。初形その他、途中

9, 11, 12, 14, 15, 16, 17, 18, 21, 22 手目が対照形が10回登場。

★ 作者よりよく作品を見てますね (笑)

第3番

神無七郎作 協力自玉スタイルメイト 32手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				香	王	香			一
				歩	馬	歩			二
				香	王	香			三
				香	歩	香			四
				龍	馬	龍			五
									六
									七
									八
									九

持駒 金2桂4

41歩成 同角 52金 同角 41香成 同角  
 52金 同角 61歩成 同角 43桂 同角  
 61香成 同角 43桂 同角 61香成 同角  
 43桂 同角 61龍 同角 52金 同角  
 41香成 同角 63桂 同角 41龍 同角  
 52金 同角 まで 32手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					一
				馬					二
				王					三
				歩					四
				馬					五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

作者コメント

立体曲詰(?)が狙いです。

橋本孝治（解答時）

元々は「太い1から細い1」のつもりで作ったのですが、「毛刈りでスリムになる羊」という後付け設定で、羊年の年賀詰ということにしたいと思います。

★ 受方はひたすら同角と取るしかないのだが、一筋縄ではいかない。たとえば9手目41香成や43桂といった紛れがある。これらの順は最後に金や桂が上手く使えず失敗となるが、実際やってみると歯がゆい思いをすることになる。しかしこれらの順で苦しんだ後に辿り着く正解には喜びも倍増すること間違いなし。解答者も楽しんで貰えたようだ。

占魚亭

全応手同角なのは明らかなので簡単かと思いきや……。少々苦戦しましたが、楽しかったです。

真 T

なぜ手順が限定されているのかと思ったら、3段目の香がうまく邪魔駒(?)になっているわけですね。易しく楽しめました。

変寝夢

初形が最大のヒントでしたか。手順前後が成立しないのが不思議ではない。

★ お見事作者の狙いを看破しましたね。

一乗谷酔象

一見簡単そうで、読みが必要な謎解き。桂を1枚残さないと、角が1段目に残り失敗する。

【総評】

橋本孝治

去年に比べると今年の年賀詰は年賀詰らしいというか、素直に楽しめる作が並んでいると思います。自作が解答者の皆さんの負担になってしまわないことを祈ります。

★ 楽しんでもらえたようですよ

占魚亭

あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願いいたします。

★ 今年も解答よろしくお祈りします。

真 T

あけましておめでとうございます。お久しぶりです。真 T です。2015 年年賀詰作品展に解答します。よろしくお祈りします。しばらくサボっていましたが、今年はちょっとでも WFP に参加できたらと思います。

★ 皆さん待たれてますよ。よろしくお祈りします。

変寝夢

1 番が解けたのでホッとしています。

★ 2 番も難しくないと思ったけどなあ。

一乗谷酔象

本年もよろしくお祈りします。

★ 推理将棋解答頑張ります。

「西暦 2015 年と平成 27 年にちなんで、27 と四則演算を使って 2015 を作れ。ただし、使う 27 の個数はなるべく少なくすること。」

以前、KAMINA PUBLICATIONS で懸賞出題したものと同じネタです。

とりあえず作れることはすぐわかります。27 を  $n$  個足して 27 で割ったものを  $F(n)$  と表すことにすれば、 $F(n)=n$  なので、

・  $F(2015)$   
 が解のひとつになります。このとき 27 は 2016 個使用 ( $F(n)$  は  $n+1$  個の 27 を使用) していることになって、いかにも使いすぎです。

そこで  $2015=5 \times 13 \times 31$  に注目すれば、  
 ・  $F(5) \times F(13) \times F(31)$   
 とできます。このときの 27 の使用個数は、 $6+14+32=52$  個。

さらに、13 と 31 はもう少し工夫して、  
 $13=(27-1)/2=(27-F(1))/F(2) \cdots 6$  個  
 $31=27+4=27+F(4) \cdots 6$  個

とできるので、  
 ・  $F(5) \times (27-F(1))/F(2) \times (27+F(4))$   
 18 個使用まで減らしました。

その後の試行錯誤で筆者は 14 個使用まで減らしました。ご参考までに本稿末尾にわかりにくい表現で掲載しておきますが、これが最適解とは思えません。

さて、皆さんならいかがでしょうか。

ちなみに、2015 で 27 を作る方はあまり考えていませんが、とりあえず 12 個でできます。2015 を  $n$  個足して 2015 で割ったものを  $G(n)$  とすれば、

・  $G(3) \times G(3) \times G(3) = 27$   
 巾乗表現が許されるのであれば、8 個でも OK。  
 ・  $G(3)^G(3) = 27$   
 いずれにしても 2015 の特徴を使ってないので少しも面白くありません。

14 個使用解

・ 左括弧二十七引く左括弧二十七足す二十七右括弧割る二十七右括弧掛ける左括弧二十七足す二十七足す二十七引く左括弧二十七足す二十七右括弧割る左括弧二十七足す二十七足す二十七足す二十七足す二十七右括弧右括弧

$$(27-(27+27) \div 27) \times (27+27+27-(27+27) \div (27+27+27+27+27))$$

解図日記コメント欄と解答頂いたものを掲載します。

### 解図日記コメント欄

北村太路

比較的簡単に 13 個に出来た。27 → 2015。しかし比較的簡単に出来たので何か太郎さんの畏かもしれない。太郎さんの答は解説が面倒なのでまだ見てないです。

神無太郎

畏はないです。

北村太路

12 月 31 日なので太郎さんの 14 個解を並べてみた。ひょえー。かっちょええ。なるほどと思いました。俺の 13 個解は、 $26 \times 77.5$  です。

神無太郎

すみません、今見ました。確かに 13 個ですね。さすがです。

### 一乗谷酔象さんよりの解答

(13 個解)

$$\begin{aligned} 2015 &= 2016 - 1 = 28 \times 72 - 1 = (27 + 1) \times (81 - 9) - 1 \\ &= (27 + 27 \div 27) \times (27 + 27 + 27 - 27 \times 27 \div (27 + 27 + 27)) - 27 \div 27 \end{aligned}$$

※引き算で作ってみました。

# 2015 年年賀詰紹介

今年お披露目されたフェアリーの年賀詰を紹介します。WFP 関連は除きます。解答は非公表ですのでここでは載せませんが解いてみてください。

天津包子作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩

占魚亭作 Isardam 協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂歩

占魚亭作 Isardam 協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀

たくぼん作 強欲協力詰 30手 (受先)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

けんちゃん作 バカ詰 (透明駒 2+0)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角2

変寝夢作 打歩協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩

漏れがあったらご容赦ください。  
ルールは、こちらを→

# WFP 作品展登場ルールのもまとめ

(第30～60回)

担当：神無七郎

私が担当を開始した第30回以降のWFP作品展で実際に出題されたルールをまとめてみました。説明の詳しさにバラツキがあったり、例図がないなど、不足な点も多々ありますが、簡易リファレンスとしてご利用いただければと思います。

## 目次

1. 先後の戦略に関するもの	31
【協力詰】	31
【最悪詰】	31
【詰将棋】	31
2. 目的に関するもの	32
【スタイルメイト】	32
【千日手】	32
3. 対象に関するもの	32
【自玉詰】	32
4. 性能変化	32
【対面】	32
【背面】	32
【側面】	32
【騎面】	32
【安南】	32
【安北】	32
【安北2】	32
【安東西】	32
【安南北】	33
【安騎】	33
【マドラシ】	33
【天竺】	33
【ネコネコ鮮】	33
5. 手の選択に関するもの	33
【取禁】	33
【全取禁】	33
【成禁】	33
【強欲】	33
【禁欲】	34
【強欲禁欲】	34
【打歩】	34
【Isardam】	34
【千日手禁】	34
【Koko】	34
【マキシ】	34
【非王手】	34

6. フェアリー駒	34
【クィーン】(Q)	34
【ナイト】(騎)	34
【Zebra】(縞)	34
【Empress】(后)	34
【Princess】(姫)	35
【ナイトライダー】(夜)	35
【Rose】(薔)	35
【Five-Leaper】(伍)	35
【Locust】(蝗)	35
【グラスホッパー】(G)	35
【Eagle】(鷲)	36
【Lion】(鬃)	36
【RoseLion】(RL)	36
【カンガルー】(考)	36
【Non-Stop Equihopper】(E)	36
【パオ】(包)	37
【Leo】(包)	37
【Mao】(マ)	37
【Moa】(モ)	37
【麒麟】(麒)	37
【獅子】(獅)	37
【燕】(燕)	38
【歩X】(X)	38
【横牛】(牛)	38
【横狼】(狼)	38
【カメレオン】(cX)	6
【中立駒】(「  」あるいは「n駒」)	38
【Imitator】(■またはI)	38
【透明駒】	38
7. 復活及び駒の所属に関するルール	38
【キルケ】	38
【アンチキルケ】	39
【PWC】	39
【Andernach】	6
【AntiAndernach】	39
8. フェアリー盤	39
【石】(●)	6
【穴】(◆)	39
【縦シリンダー盤】	39
【拡大盤】	39
【非標準駒数】	39
【持駒の変数指定】	40
【持駒：∞】	40
9. その他	40
【受先】	6
【手余り可】または【駒余り可】	40
【打歩詰可】	40

【駒詰】	40
【異王 (X/Y)】	40
【二玉詰】または【多玉詰】	40
【非連続王手】	40
【n 解】	40
【レトロ -m/n 手】	40
【推理将棋】	40
【還元型無駄合】	40
【限定】	40
【将】	40
【持駒推理】	40
【ヘルプセルフ】	40
【量子詰将棋】	41
【連続】	41
【共振】	41
【京都将棋】エラー! ブックマークが定義されていません。	

(注) 本稿は単冊用で作成されておりますので上記目次のページ数は単冊用のページ数となっております。WFP のページ数とは異なりますのでご注意ください。単冊 PDF は WFP のページよりご覧いただけます。

## 1. 戦略に関するもの

普通の詰将棋は攻方（王手を掛ける側）が、どう受けられても詰む手を選び、受方（王手を外す側）は手数が最も長くなる受けを選ぶ。しかしフェアリーでは先手や後手が別の戦略を採ることがある。

「どのような手を選ぶか」という先手・後手の戦略に関わる変則ルールをここに挙げる。

### 【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

### [補足]

- ・通称「ばか詰」。  
詰パラではこの呼称で表される。
- ・ここでは「協力詰」と書いたが、これは「目的」が「詰」の場合である。目的が変われば「協力千日手」のように変化する。「協力自玉詰」のように、詰める対象が変わる場合もある。

### 【最悪詰】

攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応じる。

### [補足]

- ・「詰める側」と「詰みを防ぐ側」が通常とは逆になっている。このため用語も逆になっており、「紛れ」を受方に、「変化」を攻方に使う。

### 【詰将棋】

攻方は受方がどのように応じても詰むように攻め、受方はなるべく詰まないように応じる。(いわゆる普通の詰将棋)

### [補足]

- ・本作品展では普通の詰将棋は「詰将棋」と表記して出題する。複合ルールの場合は組み合わせるルール名の後に「詰」を付けて表す。
- ・攻方最短を要求するときは「最善詰」とする(予定、実際にはまだ出題されたことはない)。

## 2. 目的に関するもの

普通の詰将棋の目的は「詰」（王手が掛かっていて合法的な応手がない状態）であるが、これを変更したルールもある。

### 【スタイルメイト】

王手は掛かっていないが合法手のない状態にする。

### 〔補足〕

- ・「協力自玉スタイルメイト」の形で出題される場合が多い。
- ・単玉の自玉スタイルメイトの場合は、単に合法手のない状態。

### 【千日手】

先後協力して最短手数で初形局面に戻す。

### 〔補足〕:

- ・「協力千日手」の形で出題される場合が多いが、理論上は他の戦略にも適用できる。
- ・戻すべき初形局面は左右の対称性を考慮しない。初形と左右対称の局面になっても、その時点ではまだ千日手は不成立。
- ・「千日手」で達成すべき目標は「同一局面4回」ではない。あくまで初形に戻すことが目的。初形と関係なく千日手にするのが目的でもない。

## 3. 対象に関するもの

普通の詰将棋で詰める対象は受方の玉であるが、これを変更したルールもある。より一般的に言えば攻方を「目的」の状態にすること。

### 【自玉詰】

攻方の玉を詰める。

### 〔補足〕

- ・「自玉詰」は「自殺詰」とも呼ばれる。詰パラではこの呼称で表される。
- ・「目的」が「詰」以外の場合は、「自玉スタイルメイト」のように変化する。
- ・単玉で自玉がなくても、攻方を「目的」の状態にできるなら「自玉」と呼ぶ。

## 4. 性能変化

何らかの条件が満たされると駒の性能が変化するルールをここにまとめる。これらのルールでは性能変化が起こる状態が解除されると、性能が元に戻る。また、「行きどころのない駒」や「二歩」の扱いにはくれぐれも注意！

### 【対面】

敵駒と向かい合ったとき、互いに利きが入れ替わる。

### 【背面】

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入れ替わる。

### 【側面】

敵駒が横にいと、その駒の利きになる。複数の駒がある場合は、それらの利きを合成した利きになる。

### 【騎面】

八方桂の位置にある敵駒の利きに駒の利きが変わる。異なる複数の敵駒がある場合はそれらを合成した利きを持つようになる。

### 【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

### 【安北】

味方の駒が縦に並ぶと、下の駒の利きは上の駒の利きになる。

### 【安北2】

2 枡前に味方の駒があるとその利きになる。

### 〔補足〕

- ・行き所のない駒の概念は通常通り。

### 【安東西】

味方の駒が横にいと、その駒の利きになる。複数の駒がある場合は、それらの利きを合成した利きになる。



### 【安南北】

味方の駒が前後にいと、その駒の利きになる。複数の駒がある場合は、それらの利きを合成した利きになる。

### 【安騎】

八方桂の位置にある味方駒の利きに駒の利きが変わる。異なる複数の味方駒がある場合はそれらを合成した駒の利きを持つようになる。

### 【マドラシ】

同種の敵駒の利きに入ると、利きがなくなる。ただし、玉は除く。

### 【補足】

- ・玉にもこの規則を適用する場合は「Kマドラシ」と表す。
- ・成駒と生駒は別種の駒として区別する。
- ・利きが消えるかどうかは「本来の利き」に入るかどうかだけで判断する。の例えば A と B が互いに利きを消していて、新たな C がその本来の利きに入っても、利きは消える。「すでに AB の利きが消えているから C の利きは消えない」とは解釈しない。

### 【天竺】

玉(王)の利きが王手をした駒の利きになる。

### 【ネコネコ鮮】

敵味方を問わず、駒が縦に繋がっているとき、上から n 番目の駒は下から n 番目の駒の性能になる。

### 【補足】

- ・並ぶ駒の枚数が奇数枚のとき中央の駒は本来の利きになる。
- ・行き所のない駒の概念はなし。

### 【性能変化ルール全般的の補足】

#### (1) 二歩について

性能変化ルールで「玉を取ったとき、二歩になる手を有効とするか否か」でルール設定が分かれる。これを有効とするのが「利き二歩有効」、無効とするのが「利き二歩無効」。何も書いていなければ、WFP 作品展では前者の設定を適用する。

#### (2) 行きどころのない駒について

性能変化ルールでは、性能変化により利きが復活しうる位置であれば、一時的に利き所の無い駒の存在も許される。具体的には以下ようになる。

安南：何も問題なし

安北：一段目の桂香歩は禁止

対面：一段目の桂香歩は禁止

背面：何も問題なし

WFP 作品展では他の性能変化ルールでも特に指定がない限り、この方式を適用する。上記の判定は（特に指定がない限り）特定の局面に依存しない。

#### (3) 行きどころのない駒について

上記(2)とは逆に利きのない駒が出現するような着手を禁止するルール設定もある。そのようなルールをA式、(2)のようなルールをB式と区別する。A式はオプションが多様なため、出題時は禁則の適用範囲を明確にする必要がある。

## 5. 手の選択に関するもの

条件によって手が制限されたり、禁手の概念が変更されたもの。「詰み」や「王手」の概念が通常通りかどうか、くれぐれも注意！

### 【取禁】

手順中に駒を取る手があってはならない。

### 【全取禁】

駒を取る手は禁手。詰み等の概念も駒を取れないことを前提とする。

### 【補足】

- ・取禁で詰み等の概念も駒を取れないことを前提とする場合は「全」を付ける。

### 【成禁】

手順中に成る手があってはならない。

### 【強欲】

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

### 【補足】

- ・逆に、駒を取らない着手を優先するのが「禁欲」。

**【禁欲】**

駒を取らない手を優先して着手を選ぶ。

**【強欲禁欲】**

合法手に駒を取る手と駒を取らない手がどちらも存在する局面を避ける。

**【打歩】**

打歩詰以外の詰手を禁手とする。これは先後双方に再帰的に適用される (完全打歩)。

**〔補足〕**

- ・打歩以外の詰を禁手とする場合は「完全打歩」、打歩以外の詰を単なる失敗と扱う場合は「単純打歩」と呼ぶ。

**【Isardam】**

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。  
玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。(タイプA)

**〔補足〕**

- ・玉を取るとき敵駒の利きに入るかどうかを問わない場合は、「タイプB」。
- ・成駒と生駒は別種の駒として区別する

**【千日手禁】**

同一局面が4回現われる手を禁手とする。

**〔補足〕**

- ・将棋の実戦と異なり、連続王手かどうかは無関係。持駒の駒数が無限の場合は、有限回の増減があっても同一とみなす。

**【Koko】**

着手は、そのまわりの8マスに何らかの駒が存在するような地点のみ有効。王手にもこの条件は適用される。

**【マキシ】**

受方は最長距離の着手を選ぶ。

**〔補足〕**

- ・攻方は任意の着手が可能 (ただし王手義務はある)
- ・距離は将棋盤を9×9の正方格子とみなし通常の平面幾何的な距離で計算する。
- ・持駒を打つ手は距離1と定義する。
- ・縦シリンダー盤等でも通常の距離で測る。

例えばナイトライダーが21から18へ跳んだ場合、距離は桂馬跳びの距離( $\sqrt{5}$ )ではなく、21と18の距離( $\sqrt{50}$ )と計算する。

**【非王手】**

王手を掛けてはいけない。

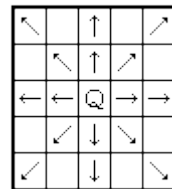
**6. フェアリー駒**

フェアリーでは、通常の将棋駒とは異なる駒を使う場合がある。そのような駒は無限に考えられるが、ここではWFP作品展で実際に出題されたものだけを紹介する。

中将棋系の駒は「成」のルールが面倒なので、成らない設定で出題されることも多い。

**【クィーン】(Q)**

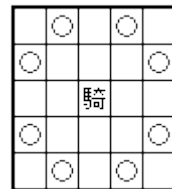
チェスのクィーン。飛車と角を合わせた性能を持つ。



(矢印がQの走る方向)

**【ナイト】(騎)**

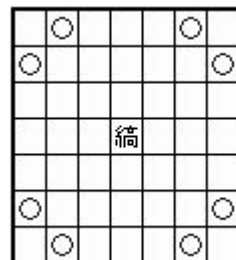
ナイトはチェスの駒。八方桂。



(○が騎の利き)

**【Zebra】(縞)**

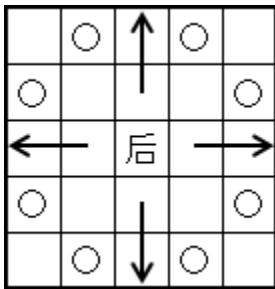
Zebraはフェアリーチェスの駒。  
3対2の方向に跳ぶ八方桂。



(○が縞の利き)

**【Empress】(后)**

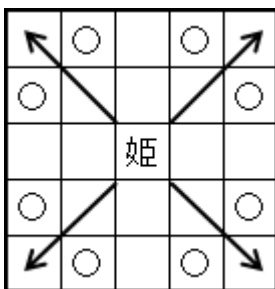
フェアリーチェスの Empress。  
飛とナイトを合わせた利きを持つ。



(○に着手する、または矢印の方向に走ることができる。)

**【Princess】(姫)**

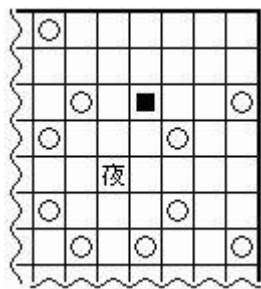
フェアリーチェスの Princess。  
角とナイトを合わせた利きを持つ。



(○に着手する、または矢印の方向に走ることができる。)

**【ナイトライダー】(夜)**

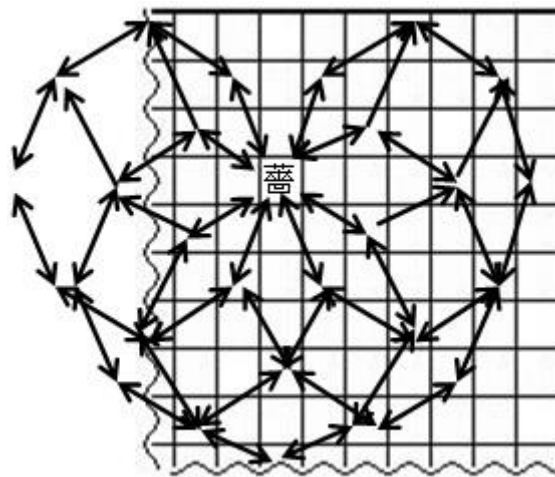
フェアリーチェスのナイトライダー。  
ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



(○がナイトライダーの利き。■に駒があるとそこから先には利かない。)

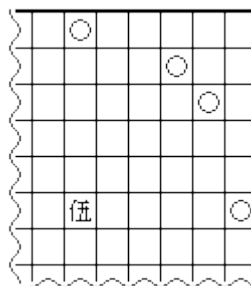
**【Rose】(薔)**

フェアリーチェスの Rose。  
円形に進むナイトライダー。途中に駒があったり盤をはみ出したりするとそこから先に行けない。



**【Five-Leaper】(伍)**

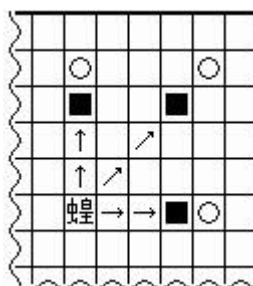
Five-Leaper はフェアリーチェスの駒。  
距離 5 のマスに跳ぶ。



(○が伍の利き)

**【Locust】(蝗)**

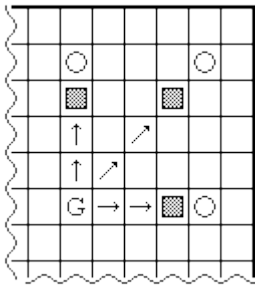
フェアリーチェスの Locust (蝗)。  
クィーンの利きの方向にある敵駒を跳び越えその先の空きマスに着地し、跳び越えた敵駒を取る。



(○が蝗の利き。  
■は敵駒。■が味方の駒だったり、○の地点が埋まっていると跳べない。)

**【グラスホッパー】(G)**

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を 1 つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



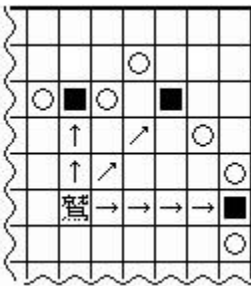
(○が G の利き)

### 【補足】

- 飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。
- パオと違って飛び越さないと動けない。動ける場所も飛び越えた駒の隣だけ。
- 成ることはできない。特に記述しない限り受方の持駒に G はない。
- 2 つ以上の駒は飛び越せない。

### 【Eagle】(鷲)

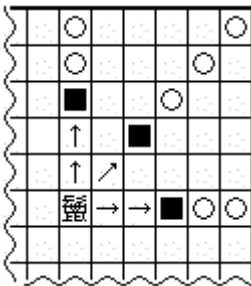
フェアリーチェスの Eagle。  
グラスホッパーの変種で、クイーンの利きの方向にある駒に到達した後、進行方向に対し 90° 曲がった場所に着地する。



(○が鷲の利き。■は敵または味方の駒。)

### 【Lion】(鬘)

フェアリーチェスの Lion。  
クイーンの利きの方向にある駒を 1 つ飛び越えその先の任意のマスに着地する。着地点に敵駒があれば取れる。



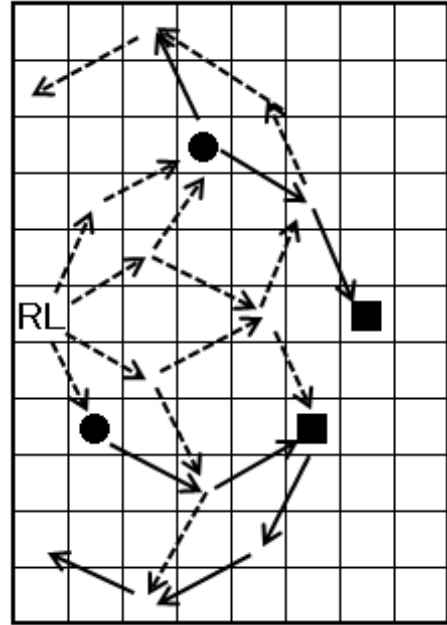
(○が鬘の利き。■は敵または味方の駒。○の地点が埋まっていると、その先には跳べない。)

### 【RoseLion】(RL)

フェアリーチェスの Rose (薔) に Lion (鬘)

の性質を付加したもの。

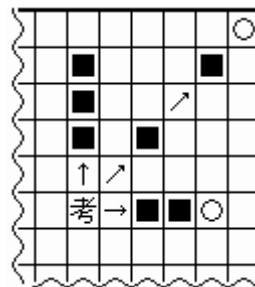
円形に進むナイトライダーで、途中の駒を一つ飛び越えその先の (Rose としての) 任意のマスに着地する。そこに敵駒があれば取れる。ただし、二枚以上飛び越したり、盤をはみ出したりすることはできない。



点線と実線の矢印が RL の軌道。●が敵または味方の駒で、そこを通過した実線部の矢印の終点に着地できる。■が敵駒なら取れる。

### 【カンガルー】(考)

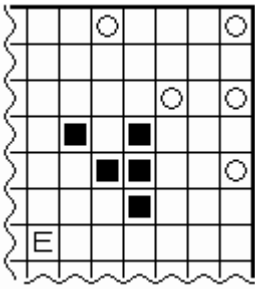
フェアリーチェスの Kangaroo。  
クイーンの利きの方向にある駒を 2 つ飛び越えその先のマスに着地する。着地点に敵駒があれば取れる。3 つ以上は飛び越せない。飛び越す 2 つの駒は間が空いていても良い。



(○が考の利き。■は敵または味方の駒。)

### 【Non-Stop Equihopper】(E)

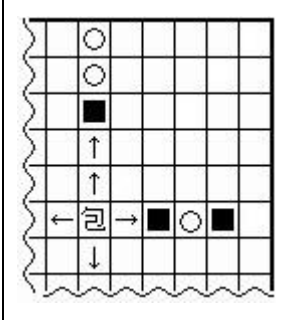
盤上の任意の駒を中心に現位置から点対称の位置に着地する。着地点に敵の駒があれば取れる。現位置と着地点を結ぶ線上に余計な駒が挟まっても跳べる。



(○がEの利き。■は敵または味方の駒。)

### 【パオ】(包)

中国象棋の駒。動くときは飛車と同じ。駒を取るときは必ず一つ駒を飛び越えて取る。



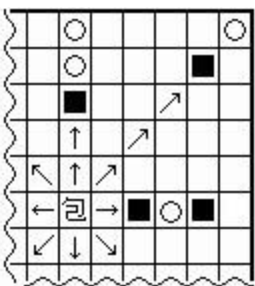
(■は敵か味方の駒。○は取るときに動ける場所。矢印は駒を取らないときに動ける場所。)

### [補足]

- ・飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。
- ・グラスホッパーと違って着地場所は飛び越えた駒の隣でなくてもよい。
- ・成ることはできない。特に記述しない限り受方の持駒に包はない。
- ・2つ以上の駒は飛び越せない。

### 【Leo】(包)

フェアリーチェスの Leo。  
中国象棋の Pao の利きの方向をクィーンにしたもの。駒を取らずに動く時はクィーンと同じ。駒を取る時はクィーンの方に1枚だけ駒を跳び越えて動く。



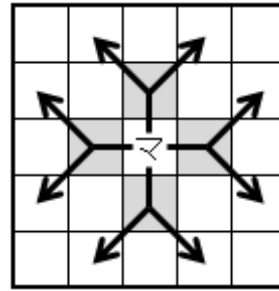
(矢印が Leo の動く方向。○は Leo が駒を取る時の利き。■は敵または味方の駒。駒を2枚跳び越すことはできない。)

### [補足]

- ・混同のおそれがない場合、本作品展では表記は「包」を使う。Pao と区別するときには「炮」などを使う。

### 【Mao】(マ)

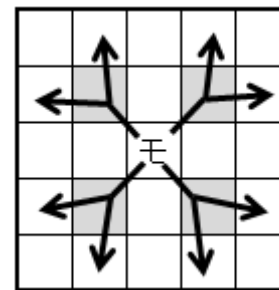
中国象棋の馬 (Mao)。合駒の利く八方桂。



(一旦前後左右に一マス進み、次いで斜めに一マス進んだ場所に着地する。網掛けで示した所に駒があると、その先のマスに進めない。)

### 【Moa】(モ)

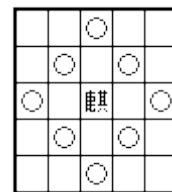
中国象棋の馬 (Mao) の斜め版。合駒の利く八方桂。Mao が上下左右のマスに駒があると先に進めないのに対し、Moa は斜めのマスに駒があると先に進めない。



(一旦斜めに一マス進み、次いで縦横に一マス進んだ八方桂の位置に着地する。網掛けで示した所に駒があると、その先のマスに進めない。)

### 【麒麟】(麒)

中将棋の麒麟。  
斜めと1間跳んだ前後左右に利く。



(○が麒麟の利き)

### 【獅子】(獅)

中将棋の駒で、玉2手分の動きができる。

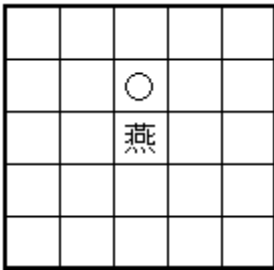


- 1回動くときは図の①または②の位置に動く。
  - 2回動くときは1手目で①の位置に、2手目で隣接する8枱のいずれかに動ける。
- 結果的に動かなかったり、動かずに①の位置の駒を取ったり、2つの駒を取ったりすることができる。

**【燕】(燕)**

禽将棋の「燕」。

動きは歩と同じで、二歩禁の代わりに三燕禁のルールが適用される。打燕詰も禁手。



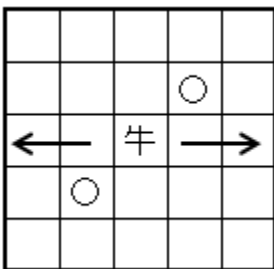
(○が燕の利き。  
同じ筋に三つ以上の燕は存在できない。)

**【歩 X】(X)**

複数の歩を使うときに、歩と識別用の文字を組み合わせる。各「歩 X」は「歩」と同じ性能で、同じ筋に2つ以上の同種の駒が存在できず、打歩詰の禁則も適用される。

**【横牛】(牛)**

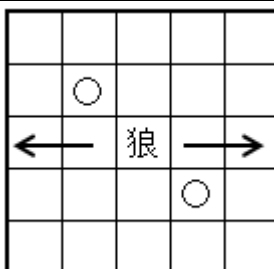
大局将棋の「横牛」。横には自由に走ることができ、斜め右上と斜め左下に一つ動ける。



(○の地点及び左右へ横牛が動ける。)

**【横狼】(狼)**

大局将棋の「横狼」。横には自由に走ることができ、斜め左上と斜め右下に一つ動ける。



(○の地点及び左右へ横狼が動ける。)

**【カメレオン】(cX)**

1 手指すごとに駒の種類がサイクリックに入れ替わる。変化の順序は  
Q (クイーン) → S (騎) → B (角) → R (飛) → Q → (以下繰り返し…)

**[補足]**

- ・駒種の横に c を付記して表記。
- ・取られたときはその状態で相手の持駒となりその状態で打つことができる。

**【中立駒】(「ぬ」あるいは「n 駒」)**

どちらの手番でも動かせる駒。

**[補足]**

横向きの字か横に n を付加して表記。

取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 7) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる (利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 8) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 9) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 10) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 11) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 12) 中立駒は行き所ない駒にならない。

**【Imitator】(■または I)**

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。

**【透明駒】**

位置・種類が不明の駒。

着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性があれば、それを満たしているものとして手順を進めることができる。

**7. 復活及び駒の所属に関するルール**

駒を取られたときや取ったときの挙動が通常と異なるものを、ここでまとめて説明する。

**【キルケ】**

駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に戻される。戻せないときは持駒になる。

**[補足]**

戻り方等は以下の細則に従う

- 1) 成駒は生駒になって戻る。
- 2) 戻り位置が埋まっていたり、二歩や行き所の無い駒になったりする場合は戻れない。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 金銀桂香（成駒も含む）が5筋で取られ、複数の戻り先候補がある場合、戻る位置を選択できる。

**【アンチキルケ】**

駒取りがあったとき取った方の駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される。

**[補足]**

戻り方等は以下の細則に従う

- 1) 成駒は成ったまま戻る。
- 2) 戻り位置に駒があったり、自玉に王手が掛かったりするため、戻れない場合は戻らない。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 金銀桂香（成駒も含む）が5筋で駒取りを行い、複数の戻り先候補がある場合、戻る位置を選択できる。片方にのみ戻れる場合は強制的にそちらに戻る。

**【PWC】**

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。（駒位置の交換となる）

**[補足]**

戻り方等は以下の細則に従う

- 1) 駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される。
- 2) 位置交換の結果、相手駒が二歩になったり、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、自分の持駒になる。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。

**【Andernach】**

駒取りを行った駒（玉を除く）は、その場で相手の駒となる。

**[補足]**

- 4) 取ると二歩になる場合相手の駒にならない
- 5) 駒の向きの転換は成生の選択の後に行われ、成生の選択権は駒を取った側にある

- 6) 駒取りの場合に限り、8段目への桂の不成、9段目への桂香歩の不成が可能（二歩の例外を除く）

**【AntiAndernach】**

駒を取らない盤上の移動（駒を取る及び持駒を打つ以外の着手）を行うと、着手後に相手の駒となる（玉を除く）。

**[補足]**

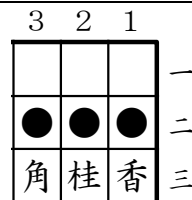
- ・細則は Andernach と同様に「駒取り」を「駒を取らない盤上の移動」に読み替える。
- ・キルケ系のルールとの組み合わせの場合、取ったはずの駒が駒台に乗らなくても、取ったものとみなす。

**8. 変則盤・変則持駒**

大きさや性質が通常と異なる盤や、通常とは異なる枚数の駒を使うものここに分類する。

**【石】(●)**

不透過・不可侵の領域を表す。  
飛び越すことは可能。



例えば左図で、  
12 香や 11 香成は不可。  
22 角や 11 角は不可。  
11 桂成や 31 桂成は可。

**【穴】(◆)**

着手はできないが、走り駒が通過することはできる箇所を表す。

**【縦シリンダー盤】**

一段目と九段目の同じ筋同士が繋がった盤。

**[補足]**

- ・可成地点を通過するだけで成れる「通過成可」のルールが付加される場合がある。

**【拡大盤】**

通常の盤よりサイズの大きい盤。

**【非標準駒数】**

使用駒の数や種類が通常と異なる。

**【持駒の変数指定】**

持駒の枚数を変数で表す。

**[補足]**

- ・この場合、通常は手数も変数で指定する。

**【持駒：∞】**

指定駒を無限に持っていることを示す。  
 指定が特でない場合は、全種類の駒を無限に持っていることを示す。

**9. その他**

以上の分類に属さないものをここでまとめて説明する。

**【受先】**

受方から指し始める。

**[補足]**

- ・手数の偶奇やルールから判別できる場合は省略されることもある

**【手余り可】または【駒余り可】**

最後に攻方持駒が余っても良い。

**【打歩詰可】**

打歩詰で詰ませても良い。

**【駒詰】**

玉が指定駒の性能になる。

**[補足]**

- ・指定駒が成れる駒の場合、玉も成れる。
- ・指定駒が古将棋の駒の場合、成れるかどうかは問題の設定による
- ・玉の性能が変わるだけなので、指定がない限り、使用できる駒種・駒数は通常通り。
- ・ルール名は玉がどの駒になるか分かるよう「駒名＋王」で表わす。例えば玉が龍の性能の場合は「龍王詰」。  
「駒名＋玉」としないのは“大人の事情”。  
例えば玉の性能が金の場合…（以下略）。

**【異王（X/Y）】**

攻方の王がXの性能、受方の玉がYの性能になる。

**[補足]**

- ・駒詰はこのルールの特別な場合（ $X = Y$ のとき）とみなせる。

**【二玉詰】または【多玉詰】**

複数の玉を使用する。  
 どの玉に対しても王手放置は禁手。  
 王手を外せなければ詰み。

**[補足]**

- ・玉が3枚以上の場合、「多玉詰」と表すこともあるし、「二玉詰」と表すこともある。

**【非連続王手】**

攻方に王手の義務がない。  
 （王手をしても良い）

**【n解】**

解が複数あり、指定されたn個の解を求める出題形式。

**【レトロ -m/n手】**

m手逆算してn手で詰む手順を求める。

**【推理将棋】**

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

**【還元型無駄合】**

盤上の配置が同じで攻方の持駒だけが増える局面に至るような合駒はしない。

**[補足]**

- ・「原型復帰型無駄合」などとも呼ばれる。

**【限定】**

駒を余らせず、指定手数で詰める。

**【将】**

協力系ルールで「すかし詰」を可とする。

**【持駒推理】**

図が与えられた手数で完全作となるように攻方の持駒を設定する。

**【ヘルプセルフ】**

最終手は攻方が（王手以外の指手も含む）ど



の手を指しても詰んでいなければならない。

#### 【量子詰将棋】

量子将棋の詰将棋。駒の種類に複数の可能性があり、着手によって駒種が決まる。

#### 【連続】

片方の手番のみが連続して指す。

#### 【共振】

複数の図で同一手数目に着手出来る駒は同種の駒のみとする。

#### 【京都将棋】

盤面は縦横 5 マス。自陣・敵陣はない。

駒は次の 5 種類を先後各 1 枚ずつ持っている。

動きは将棋のものと同じ。

- ・玉：表裏とも玉
- ・香と（きょうと）：表が香、裏がと
- ・銀角（ぎんかく）：表が銀、裏が角
- ・金桂（きんけい）：表が金、裏が桂
- ・飛歩（ひふ）：表が飛、裏が歩

駒は成らず、その代わりに 1 手動くごとにその駒を裏返す。すなわち駒は 1 手ごとに性能が変わる。

将棋同様取った駒は打てるが、表裏どちらで打ってもよい。

打歩詰、二歩は禁止されていない。行き所のない駒も禁止されていない。

## 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

### 2015年2月15日(日)

#### 第67回 WFP 作品展 (再出題) 第68回 WFP 作品展

フェアリー作品 2題+9題  
推理将棋 1題

#### Fairy of the Forest #42

協力詰 5題

### 2015年2月20日(金)

#### 詰将棋メモ 第86回推理将棋出題

推理将棋 4題

### 2015年3月15日(日)

#### 第69回 WFP 作品展

フェアリー作品 8題  
推理将棋 1題

## 作品募集一覧

### フェアリー版くるくる展示室

- ・ 盤は9×9、駒は普通の将棋駒及び駒数内 (フェアリー駒はとりあえず不可)
- ・ 後手持駒制限 OK
- ・ ルールは何でも OK (協力詰、かしこ詰、打歩詰、自玉詰系、ステイルメイトなど何でも OK)
- ・ 手数制限なし

投稿先は、WFP 編集部

たくぼん takuji@dokidoki.ne.jp

## P29 たくぼん作解答

74 玉 75 飛 同玉 76 歩 同玉 67 銀  
同玉 66 金 57 玉 56 金 同玉 45 銀  
同玉 34 銀 同玉 35 香 43 玉 55 桂打  
同金 同桂 53 玉 43 桂成 同玉 34 金  
42 玉 32 歩成 同玉 33 金 31 玉 32 金  
まで 30 手

一乗谷酔象さんより感想を頂きました。

一乗谷酔象

6 手目迷うところ。銀を捨てて金を残す。

### 【あとがき】

2015 年が始まり、さあ今年も頑張るぞと思っていた 13 日、広島 of 病院より電話があり、入院中の父親の容態が良くないとの事。仕事で高知に行っていたのでとりあえず新居浜に帰り、ちよーえりと共に広島へ。夜 10 時半に病院着。病室に入り話しかけた 2 分後息を引き取りました。

私の来るのを待っていたように……。その後通夜、葬儀とばたばたと執り行い先週末、新居浜に帰ってきました。

いろいろな手続きがまだ残っているので来週の詰四会は欠席となります。参加予定の方申し訳ありませんが、よろしくお願ひします。

何とか WFP は発行出来てよかったです。

たくぼん

2015 年 第 79 号

### Web Fairy Paradise

非売品

平成二十七年一月号

平成二十七年一月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先 takuji@dokidoki.ne.jp